教8-19 末吉小放課後児童クラブ施設改築電気設備工事

MARU architecture　DAI ARCHITECTURAL INC.　ARUP

図番	名称	縮尺（A1）	縮尺（A3）
E000	電気設備　図面リスト	N.S.	N.S.
E101	電気設備　特記仕様書-1	N.S.	N.S.
E102	電気設備　特記仕様書-2	N.S.	N.S.
E103	電気設備　特記仕様書-3	N.S.	N.S.
E104	電気設備　特記仕様書-4	N.S.	N.S.
E105	電気設備　特記仕様書-5	N.S.	N.S.
E106	工事区分表-1	N.S.	N.S.
E107	建築概要・案内図	1/2500	1/5000
E108	断面図-1	1/50	1/100
E109	断面図-2	1/25	1/50
E201	構内配電線路・通信線路図・照明外構図	1/100	1/200
E301	電灯分電盤 標準結線図	N.S.	N.S.
E302	電灯分電盤 負荷表（1）	N.S.	N.S.
E401	電灯設備　照明器具姿図	N.S.	N.S.
E402	電灯設備　照明設備　1F平面図	1/50	1/100
E403	電灯設備　コンセント設備・単相空調設備　1F平面図	1/50	1/100
E501	構内交換・構内情報通信網設備　系統図・機器姿図	N.S.	N.S.
E502	トイレ呼出設備　系統図・機器姿図	N.S.	N.S.
E503	テレビ共同受信設備 系統図・機器姿図	N.S.	N.S.
E504	弱電設備 1F平面図	1/50	1/100
E505	非常警報設備　系統図・1F平面図	1/50	1/100

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗潮忠夫 一級建築士交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: 電気設備 図面リスト
Scale: A1: N.S. A3: N.S.
Architect
Drawn by
Checked by
Date: 2026.09.30
E-000

特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　　鹿児島県曽於市末吉町上町7丁目1−1

2．建物概要

建物概要	構　造	木造
	階　数	地上1階
	延べ面積	284.07㎡
	建物用途	消防法施行令別表第一　15項
		耐震安全性の分類　●特定の施設　○一般の施設　地域係数　●1.0　○（　）

Ⅱ　一般事項

1．本工事は、本特記仕様書によるほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）（以下標準仕様書という）による。

2．機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事標準仕様書を適用する。

3．耐震施工は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版（国土交通省国土技術政策総合研究所監修）」による。

4．本工事の使用資材の品質、規格、種別等は特記事項に○印をつけたものを適用する。

5．施工計画書は、着工に先だち、別に定める様式により作成し、監督員に提出する。
ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。

6．本工事の施工に必要な官公庁等への手続きに要する費用は、請負金額の範囲内とする。

7．本工事の受電の日から完成引渡（手直し完了まで）の日までに積算された電気使用料及び基本料は請負金額の範囲内とする。ただし、負担金の取り扱いについては、別途、協議を監督員と行うこと。

8．本工事で、特記事項に定める「立会検査を要する施工工程」に達するときは、事前に監督員へ書面にて連絡して、立会検査もしくは指示に従うこと。

9．設計図面に明記なくとも関係法令上または機器の機能上当然必要となるものについては原則として請負金額の範囲内で施工する。ただし、軽微なものに限るものとする。

10．発生材の処置については、関係法令に基づき、適正に処理すること。

11．各工種の施工に当たっては、関係法令に定められた有資格者を配置すること。

12．図面表示の姿図寸法等は参考とし、施工上やむなく発生する多少の寸法違いは差し支えない。

13．前金払について
○契約金額500万円以上の工事にあっては、契約金額（年度毎の出来高予定額）の10分の4を超えない範囲内に限り前払金の支払を請求することができる。

14．中間前金払い又は部分払いについて
~~本工事において、中間前金払い又は部分払いのいずれかを選択するものとする。~~
1）中間前金払い
○契約金額（全体又は年度毎の出来高予定額）の10分の2を超えない範囲内に限り7の全ての要件を満たす場合に中間前払金の支払を請求することができる。
○中間前払金の要件
・工期の2分の1を経過していること。
・工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
・既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。
~~2）部分払い~~
~~本工事で前払い金を支払ったものについては2回、支払いがなされないものについては3回を超えて部分払いをすることはできない。~~

15．「工事カルテ」の作成の必要がある場合（工事請負代金が500万以上）には、工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督職員に提出し承諾を受けた後に、(財)日本建設情報総合センターに登録するとともに登録結果（登録内容確認書）の写しを監督職員に提出すること。
<受注時、変更時、完成時>

16．下請工事における管内（市内）建設業者の優先活用について
1）受注者は、工事の一部を下請に付する場合は、施工地を管轄する曽於市内に主たる営業所を有する者を使用するように努めることとする。
2）受注者は、前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。
3）監督職員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督職員に提出すること。

17．県産資材等の優先使用について
1）工事に使用する資材については、県内で産出、生産または製造されたもの（以下「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。
2）受注者は、「材料使用承認願」において、全ての資材について県産資材使用の有無を記載するとともに、以下の記載する「指定資材」の中で県産資材を使用しない場合、
「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。
《指定主要資材（７品目）》
生コン（レディミクストコンクリート）、コンクリート二次製品、石材類、
アスファルト合材、木材、樹木、芝生
3）前項の「県産資材等不使用状況報告書」において、第１項の資材業者等から調達しない場合は、その理由を記載すること。
4）監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出すること。

18．ダンプトラック等による過積載等の防止について
1）工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
2）過積載を行っている資材納入業社から、資材を購入しないこと。
3）資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業社等の利益を不当に害することがないようにすること。
4）さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
5）「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下法という）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
6）下請け契約の相手方又は資材納入業社を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるものの又は、業務に関しﾌﾞﾘﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
7）1）～6）のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

Ⅲ　特記事項

区分	項目	特記事項
共通事項	①使用資材の製造所	設計図書等に記載されているものについては特記による。特記されていないものについては、県建築課制定の電気用機材リストに記載されている製造所または同等以上の製造所とする。
	②特殊な材料と工法	標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。
	③建築工事との取合	壁面、天井面等に機器取付のための必要な開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。
	④別契約の関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進ちょくを図るものとし、疑問が生じたら監督員の指示によること。
	⑤施工連絡における調　整	工事現場進行の過程における調整については、監督員ならびに支庁、地域振興局建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。
	⑥工事写真	工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、工事頭に整理したものを請負者にて保管する。 なお、工程写真の提出を監督員が指示した場合、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。完成写真は、工事完成時に撮影し、提出する。（但し、改修工事の場合は、着工前写真を添付すること） 写真はカラー写真とする。原則として電子媒体（デジタルカメラ）による写真を使用する。なお、次の条件を満たすものであること。 （１）デジタルカメラの有効画素数１００万画素数以上、プリンターは、フルカラー３００ｄｐｉ以上の機能を有する機種とし、インク、用紙等は通常の使用条件のもとで３年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。 （２）「現行のカラー写真」と「電子媒体による写真」の混合管理は原則として行わないこと。 （３）現行のカラー写真とする場合は、監督員の承諾を受けること。 （４）請負者は、完成検査若しくは工事目的物引渡しが完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。

分類		内容	
提出書類	スラブ	各階工程配管	（スケール付）
	壁柱	各階工程配管	（　〃　）
	天井いんぺい	各階工程配管	（　〃　）
	地中埋設 配管	各工程配管	（　〃　）
	地中埋設 ｹｰﾌﾞﾙｼｰﾄ	各　工　程	（　〃　）
	地中埋設 接地極	各　極	（　〃　）
	マンホール 基礎	原則として１基ごと	（　〃　）
	マンホール 内部	原則として１基ごと	（　〃　）
	マンホール 外部	原則として１基ごと	（　〃　） 配管挿入面の防水処理状況
	入線	工事種別ごと	
	資材	機器材料ごと	
完成写真		全工事および全景	
その他監督員の指示した箇所			

区分	項目	特記事項
共通事項	⑦製作図その他	下記機器については製作図を提出し監督員の承諾を得ること。 （１）各種照明器具 （２）受配電盤、分電盤、操作盤、制御盤、キュービクル、端子盤 （３）ブロックマンホール、電柱 （４）フロアダクト、ライティングダクト、ケーブルラック、バスダクト （５）変圧器、進相コンデンサ、リアクトル、アレスター （６）しゃ断器、高圧開閉器 （７）電圧調整器、静止形電源設備、発電設備 （８）構内交換装置、電気時計装置、拡声装置、非常放送装置 構内情報通信網装置、情報表示装置、映像・音響装置 誘導支援装置、呼出し装置、防犯・入退室管理装置 インターホン装置、テレビ共同受信装置、自動火災報知設備 自動閉鎖装置（自動閉鎖機構）、非常警報装置、ガス漏れ警報装置 テレビ電波障害防除装置、監視カメラ装置、駐車場管制装置 （９）その他監督員の指示するもの
	⑧工事打合簿	工事打合簿については、電子メールまたはASPにて取り交わすことができる
	⑨立会検査を要する施工工程	コンクリート埋込配管・・・・・・・・・・・・コンクリート打込前 いんぺい配管・・・・・・・・・・・・・・・・・配管完了前 地下埋設配管・・・・・・・・・・・・・・・・配管完了埋戻し前 入線配線・・・・・・・・・・・・・・・・・・入線配線施工時 機器材料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・現場搬入後 機器取付・・・・・・・・・・・・・・・・・・取付又は据付施工時 上記に示す各工程に達するときには、一般事項８などの書類により事前に監督員に書類にて連絡すること。
	⑩工事報告	工事報告は、別に定める工事進捗状況報告書により毎月末の出来高を翌月の５日までに監督員に提出する。 （監督員が指示する工事写真等を添付のこと）
	⑪完成図	設計原図を施工現場と一致するよう必要な訂正をした後、監督員の承諾を得て、白焼か青写真に複写ＬＡ－１二つ折り製本1部、 Ａ－３縮小二つ折り製本２部及びＣＤ－ＲＯＭ２部を提出する。 訂正した原図は監督員に返納する。
	⑫試験成績書	下記事項の試験成績書１部を、出来形確認時に監督員に提出する。 （１）絶縁抵抗測定結果表 （電線相互間及び電線と大地間） （２）接地抵抗測定結果表 （接地箇所、接地種別ごと） （３）高圧保護継電器性能試験結果表 （４）高圧機器及び高圧ケーブル耐圧試験成績書 上記（１）～（４）については、測定年月日、天候、温度、湿度、測定者氏名及び測定器製品番号種別を記入する。 （５）テレビ共同受信電界強度測定結果表 （６）消防法関係設備合格証明書 （７）回路試験結果表 （８）その他監督員の指示するもの。 上記については該当なきを不要とする。
	⑬申請書類	本工事の施工に必要な官公署等への申請書類はその写しを２部ずつ作成し、完成図と一緒に提出する。
	⑭完成図書	本工事について設備の概要、機器取扱い要領及び保守に関する説明書、試験成績書等（保守指導案内書）を２部作成し、完成図と一緒に提出する。
	⑮接地標示及びケーブル埋設標示	（１）接地標示 ア　標示方法・・・標示板 イ　標示位置・・・標示板によるときは接地極直近の屋外の見やすい位置。 ウ　標示板の寸法等は下表の数値以上とする。 （２）ケーブル埋設標示 ア　標示方法 原則として標示板、標柱、標示ピン、及びケーブルシートによる。 イ　標示位置 ケーブルシートは、全ての地中配管に布設する。ケーブルシートは、管路の深さの二分の一の深さで管路の真上に布設し、管路の埋設幅以上の幅を有すること。標示板は、ケーブルが地中へいたる位置で屋外の見やすい位置に設けること。標柱は、地中線路の曲折箇所、道路横断箇所、直線３０ｍ毎に１個設ける。 ウ　標示板及び標柱の寸法等は下記の数値以上とする。
	⑯マンホール	（１）　ブロックマンホールは、下記による。（●を適用） ア　構造・・・・鉄筋コンクリート製（設計強度２１Ｎ／ｍｍ²とする。 イ　寸法・・・・図面記入寸法により監督員の承認を得ること。 ウ　蓋の構造　○鉄蓋　●化粧鉄蓋 ●簡易防水　○完全防水 エ　蓋の耐荷重 蓋の耐荷重は安全荷重を表示する。耐荷重試験はＨＡＳＳ－２０９によるものを基準とし、安全荷重の４倍の荷重に耐えるものであること。なお、図面仕様に明記ないときの破壊荷重は下記による。 ○Ｒ２Ｋ（２０ＫＮ）　●Ｒ８Ｋ（８０ＫＮ） オ　蓋の表示 マンホール蓋には下記により表示文字を鋳込みもしくは刻記する。 （ア）　種別表示・・・中央部に「電」とする。 （イ）　所有者表示・・周辺部に「曽於市」とする。 カ　防水及び水抜 （ア）　ブロックマンホールの埋設にあたっては、止水材による防水処置を施して接合する。 （イ）　マンホール内のパイプ挿入箇所は完全な防水処置をする。 （ウ）　水抜は監督員の指示による。 キ　ケーブル支持材・・・・・・監督員の指示による。 ク　その他・・・　原則として所定の貫通予定箇所以外の貫通は認めない。

区分	項目	特記事項
共通事項	17．プレート	配線器具等のプレートは下記による。（●を適用） ●樹脂（NKシリーズ/JIMBO同等）　○新金属　○WP　○ステンレス
	18．配管の塗装	塗装の素地ごしらえは、汚れ、付着物及び油類の除去すること。 （鉄面はワイヤブラシ、サンダ等でさび落しを行う。） 塗装は、素地ごしらえの後に行い、合成樹脂調合ペイント２回の塗装を行うこと。 なお、さび止めペイントは、素地ごしらえ後「一般形変性エポキシ樹脂さび止めペイント」「変性エポキシ樹脂プライマーおよび弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー」とする。
	⑲ケーブル配線	ケーブルのころがし配線は、ケーブルを損傷しないように支持して布設すること。
	⑳産業廃棄物の処理	ア　産業廃棄物となる撤去機材は、産業廃棄物管理票制度（マニフェストシステム）により適正に処理し、関係書類を５年間保管すること。 イ　本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので、適正に処理すること。また、産業廃棄物運搬車両については、表示及び書面横え付けの義務付けがされているので、適正に処理すること。 ウ　蛍光灯・水銀灯ランプについて処理方法を特記している場合は、水銀回収できる専門業者に処理を依頼し、引受を確認できる書類を提出すること。 エ　変圧器等の絶縁油については、油処理のできる専門業者に処理を依頼し、引受を確認できる書類を提出すること。 オ　検査時には、マニフェストシステム関係書類の控えを提出し、産業廃棄物の処理が適正に行われたことの確認を受けること。 カ　ＰＣＢ使用電気機器（特別管理産業廃棄物）は、特別管理産業廃棄物保管基準（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則）を受けた通産省通達「ＰＣＢ使用電気機器等の保管について」に基づき、金属製、プラスチック製等、耐腐食性の容器に収容し、基準に定める表示を行い、種別、数量保管場所を記載した台帳を作成し、監督員が指定する場所に引き継ぐこと。 キ　微量ＰＣＢについては特記する。
	㉑建設発生土の処理	●場内処理は敷均し　○場外搬出は下記による（●を適用） 受け入れ場所（　　） 受け入れ場所での処置（　○敷均し　○たい積　） 搬出距離（　　）ｋｍ 処分費　○有償　○無償 上記に示す受け入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議の上、決定する。

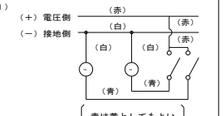
区分	項目	特記事項
電力設備工事	①電線の色別	（１）　幹線及び分岐回路

電気方式	遠近の別	赤	白	黒	青	白
三相３線	左から上から近い方から	第１相	接地側第２相	非接地第２相	第３相	－
三相４線	〃	第１相	－	第２相	第３相	中性相
単相２線	〃	第１相	接地側第２相	非接地第２相	－	－
単相３線	〃	第１相	中性相	第２相	－	－
直流２線	右から上から近い方から	正極	－	－	負極	－

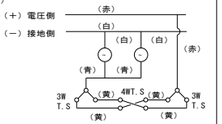
注記
1．左右、遠近の別は、正面から見た状態とする。
2．分岐回路の色別は、分岐前と同一とする。
（単相２線式の第１相が、黒色となる場合がある）
3．発電機回路の非接地第２相は、接続される商用回路の第２相の色別とする。
4．単相２線式と直流２線式の切替回路２次側は、直流２線式の配置と色別による。

（２）　電灯、コンセント回路　（電圧側が赤の場合）

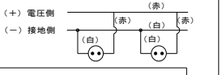
電灯回路（その１）



電灯回路（その２）



コンセント回路



（３）　電種回路

電種＼方式	長		～		短
２種式	黒	白	－	－	－
３種式	黒	白	赤	－	－
４種式	黒	白	赤	緑	－
５種式	黒	白	赤	緑	黄

（緑は青としてもよい）

区分	項目	特記事項
電力設備工事	②絶縁抵抗値	回路の絶縁抵抗値は下記以上の値であること。 （１）　低圧の屋内、屋側電路、架空及び地中電線路 開閉器で区切ることのできる電路ごとに５ＭΩ以上とする。 また、既設回路に新設配線を接続する場合は、必ず接続前に既設回路部分の絶縁抵抗測定を行い５ＭΩ以下の場合は、監督員へ報告すること。 ただし、新設部分については、おおむね100ＭΩ以上とする。 （２）　高圧の電路 線間、対地間及び高圧と低圧間は200ＭΩ以上とする。 ただし、新設部分については、おおむね2,000ＭΩ以上とする。 （３）　絶縁抵抗計の測定電圧

電路の使用電圧	一　般	機器の損傷が予想される場合
１００Ｖ級	５００Ｖ	１２５Ｖ
２００Ｖ級		２５０Ｖ
４００Ｖ級		５００Ｖ
６、６００Ｖ級	１，０００Ｖ	——

区分	項目	特記事項
電力設備工事	③照明器具の取付	（１）　原則として、照明器具は、スラブその他構造体に呼び径９ｍｍ以上の吊りボルト等で取付ける。 （２）　野縁受けにより支持する場合は、監督員の承諾を得ること。 （３）　吊ボルトは垂直に器具を吊るものとし、インサート位置のお出し誤差は５ｃｍ以内とする。５ｃｍを超える誤差を生じたときはインサート調整金具等により吊ボルト位置の調整をする。 （４）　監督員の指示のあるときは、取付詳細図を提出し、承諾を得ること。
	④電柱棒の長さ	機械設備工事と協議すること。
	⑤配線器具	図面に特記ないかぎり大角連用埋込型とする。
	⑥位置ボックスおよびジョイントボックスなど	図面に明記ないかぎり位置ボックスなどは下記による。 （１）　カバープレートは、原則として壁に角プレート、天井に丸プレートとする。 （２）　プルボックス、ジョイントボックスは、そのプレート表面に用途を示す文字を刻に定めるプレート等の刻印基準により表示する。 （３）　天井又は壁埋込みの場合、ボックスを埋込みすぎないように、塗りしろカバーと仕上がり面とが約１０ｍｍ程度以上埋込みすぎた場合は継ぎわくを使用する。ただし、ボード張りでボード裏面と塗りしろカバーの間が５ｍｍ程度に施工した場合は、この限りでない。 （４）　ネジ類は、ボックス長さに応じた適正な長さとし、ステンレス あるいは黄銅製とする。
	⑦機器の取付高さ	（１）　各機器の取付高さは、原則として下記による。

品　名		中心高さ　（ｍｍ）
分電盤、操作盤等		床上 1,500または、盤上端 1,900以下
スイッチ		床上　1,300
シルバー住宅用スイッチ		床上　1,100
手元開閉器、マグネット押釦		〃　1,500
引込開閉器		地上　1,800～2,200
屋外側壁灯		〃　2,500～3,500
自動点滅器		〃　3,000～4,000
リビセパレート	一般室　（事務室等）	床上　300
	工場作業室、洗濯室等	〃　800～1,300
	壁付台、作業台上	台上　150～　300
	和室及び住宅内	床上　200

（２）　上記高さに取付困難な場合は監督員の承諾を得ること。

区分	項目	特記事項
電力設備工事	⑧分電盤制御盤	（１）　分電盤、制御盤は標準仕様書による。 制御盤は、原則として露出型とする。 （２）　主幹用配線用しゃ断器（漏電しゃ断器の場合も含む）のしゃ断電流は、特記のない場合５，０００Ａ以上とする。 なお、漏電しゃ断器は、ＪＩＳマーク表示品とし単相３線式電路に設ける場合は、中性線欠相保護機能付とする。 （３）　自立型の場合の底板（●を適用） ●要　○不要 （４）　屋外盤の扉はパチン錠付とする。
	⑨ヒューズ等の予備数	制御盤、配電盤などの表示灯用ランプ、ヒューズ類の予備品は、キャビネットごとに現用数の２０％とし、種別ごとに最低１個を具備する。 ただし、避雷器は本体素子を現用数具備する。
	⑩電柱および装柱材料	図面仕様に明記ないときは、標準仕様書による。
	⑪照明器具等	照明器具は、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の公共建築工事標準図（電気設備工事編）（令和７年版）による他、図面特記、凡例および製作図による。 なお、搬去再取付機器については、搬去前に動作確認を行うこと。
	⑫ボックスの絶縁塗装	金属製の各種位置ボックス等の内面には絶縁塗装を施す。 なお絶縁塗装は必ず入線前に行うこと。 ただし、焼付塗装済みのボックスはこの限りでない。 図面に特記あるときを除き、本特記仕様書その他の１項による。
	13．避雷針 避雷導線 避雷接地極	（１）　避雷突針　クロムメッキ（●を適用） ●国土交通省型　LR1、○国土交通省型　LR2 （２）　避雷導線（●を適用） 銅より線　○３０ｍｍ²　●３８ｍｍ²　○４０ｍｍ² （３）　導線保護管（●を適用） ○黄銅管、●硬質ビニル管 （４）　接地用端子箱（●を適用） ○黄銅製箱　●ステンレス箱　○合成樹脂箱 （５）　接地極（接地抵抗値はおおむね５Ω以下とする） ア　主　極・・・銅板　１．５×９００×９００以上のもの１枚 イ　補助極・・・銅棒（１４φ×１，５００）
	⑭接地工事および接地極	図面に特記あるときを除き下記による。 （１）　接地極に用いる銅棒は（１４φ×１，５００） （２）　接地抵抗値については、おおむねＡ、Ｃ種５Ω、Ｄ種５０Ω を目標とする。 既設接地端子及び接地線を利用するときは、事前に接地抵抗値を測定し法定値以内であることを確認すること。 （３）　標準仕様書の（２・１３・５）による接地工事の省略等を適用する場合は、必ず監督員の承諾を得ること。
	⑮金属管配線	（１）　アースボンド線の太さは標準仕様書（表　２．１）による。 （２）　アースボンドは、ラジアスクランプによる。

区分	項目	特記事項
受変電設備工事	１．相の色別	図面仕様に明記ないときは、標準仕様書による。
	２．高圧母線のサイズ	図面に明記ないときは下記による。（●を適用） ○Ｅ　○８ｍｍ²　○１４ｍｍ²　○２２ｍｍ²　●３８ｍｍ²
	３．受配電盤	（１）　標準仕様書によるほか、屋外形にあっては横雨が侵入し難い構造とし、ドアには、ハンドルと連動する上下の押え金具を設ける。なお両開きドアの場合は左右それぞれ設ける。 （２）　内部照明付とする。
	４．接地工事および接地極	本特記仕様書電力設備工事の１４項による。
	５．母線相互の間隔など	（１）　母線相互の間隔及び母線とこれを支持する造営材との離隔距離の最小値は、標準仕様書（表１．１．２）による。 （２）　閉鎖配電盤及び半閉鎖配電盤の高圧配線絶縁距離は標準仕様書（表１．１．２）による。
	６．ヒューズ等の予　備　数	ヒューズ等の予備数は本特記仕様書電力設備工事の９項による他、電力ヒューズについては種別毎に１組具備すること。
	７．絶縁抵抗値	本特記仕様書電力設備工事の２項による。
	８．その他	図面仕様によるほか、高圧受電設備規程及び配電規程等による。 電気室内の配線用遮断器等の回路名称については、棟名及び盤名を記入すること。

区分	項目	特記事項
発電設備工事	１．発電装置	図面仕様によるほか下記による。（●を適用） （１）　発電機 通風方式　●自己通風式　○強制風冷式 （２）　ディーゼル機関、タービン機関 共通台床式２枚振装置付とする。 始動方式　●電気式　○圧縮空気式 （３）　充電装置 充電器は自動定電圧装置および過充電防止装置付とする。
	２．電線の色別	本特記仕様書電力設備工事の１項による。
	３．防災用発電機	消防法等による非常電源としての発電設備は、消防法及び建築基準法に適合したものとする。
通信情報設備工事	①電線の色別	（１）　電線の色別は下表による。

配線種別	マイナスまたは共通	電　圧　側
電気時計	赤または黒	青
拡声	白	黒、黄または赤
火災報知	白	赤　（表　示　線）
		黒　（電　話　線）
		青　（ベ　ル　線）
		黄　（確認ランプ）
接地線	緑または緑／黄	

（２）　通信線の色別順は、青・黄・緑・赤・紫の順とする。

②端子盤	図面仕様に明記ないときは、標準仕様書による。
③電柱及び装柱材料	図面仕様に明記ないときは、標準仕様書による。
④接地工事および接地極	接地極は、本特記仕様書電力設備工事の１４項による。
５．ヒューズ等の予備品	ヒューズ等の予備数は本特記仕様書電力設備工事の９項による他、図面仕様に明記ないときは、標準仕様書による。
⑥機器の取付高さ	（１）　各種機器の高さは、原則として下表による。

品　名		中心高さ　（ｍｍ）
電話用位置ボックス		床上 300または、タタミ上 200
親　時　計		床上 1,800
小　時　計		床上 2,300
スピーカー		床上 2,300
音量調整器		床上 1,300
表示器・電鈴		床上 2,300
同上操作スイッチ等		床上 1,300
インターホン		床上 1,500
テレビアンテナ端子		床上 300または、タタミ上 200
端　子　盤		床上 750または、タタミ上 1,500
火災通報設備	Ｐ形発信機	床上 800～1,500
	標識灯　（単独）	床上 2,100
	電　鈴　（単独）	床上 2,300
	分布型感知器　（単独）	床上 1,800
	総合盤	床上 800～1,500
	受信機操作部	床上 800～1,500
	副受信機	床上 800～1,500

（２）　上記高さに取付困難な場合は監督員の承諾を得ること。

⑦位置ボックスおよびジョイントボックス	本特記仕様書電力設備工事の６項による。
⑧絶縁抵抗値	（１）　測定は、測定場所に適合した電圧の絶縁抵抗計を使用すること。 （２）　１回路又は１系統当たり線間、対地間共５ＭΩ以上とする。 但し、新設部分においては、おおむね５０ＭΩ以上とする。 （３）　機器取付後の絶縁抵抗値は１ＭΩ以上とする。

その他		
	①塗　装	盤、プルボックス、配管等の塗装の仕上色については、美観を考慮の上決定し建物壁面と同色系とすること。ただし、建築美観その他の理由で不適と認められるときは、監督員の指示による。 標準色：　・屋内　２．５Ｙ９／１　・屋外　５Ｙ７／１ なお、盤・プルボックスについては、十分なさび止め処理を施し、アクリル焼き付け又は、粉体塗装を行うこと。 塗料、その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データシート（ＳＤＳ）を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。
	②化学物質を放散する建築材料等	塗料・接着剤等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「Ｆ☆☆☆☆」の材料を使用すること。
	③解体等の作業における石綿対策	大気汚染防止法、廃棄物処理法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令等に基づき、石綿含有建材に係る調査及び施工を行うこと。 調査が必要な場合は、下記によるものとする。 （１）　調査範囲は原則として施工範囲の各施工部位とする。 （例）　機器・点検口の設置に伴う天井改修部分 配管・配線を固定・貫通する内壁・外壁の部分 その他施工に伴い撤去・改修を行う部分 （２）　調査は、目視・既存図面・発注者から提供される資料等により行うこと。 （３）　調査結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに現場に備え付けること。 （４）　調査の結果、施工部位に含有建材の使用が確認された場合は、その対応について監督職員と協議することとする。 （５）　協議の結果必要と認められれば、契約書に基づき検体分析及び石綿飛散防止対策に関する設計変更を行う場合がある。
	④機器及び材料	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。
	５．改訂目	R070630

鹿児島県									図面番号	
設計年月日	令和　8　年　6　月　30 日									
工事名称	教8-19 末吉小放課後児童クラブ施設改築電気設備工事									
検印	課長		係長		主査		係員		設計	

MARU。architecture　有限会社マル・アーキテクチャ　一級建築士事務所　東京都知事登録第59575号　高野　洋平　一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI　株式会社Dai建築DESIGN　一級建築士事務所　鹿児島県知事登録第1-6-1号　松葉瀬忠夫　一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP　オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド　一級建築士事務所　東京都知事登録第35571号　富岡　良太　一級建築士登録第355621号　構造設計一級建築士登録第10495号　菅　健太郎　一級建築士登録第318575号　設備設計一級建築士登録第4096号　向井　一将　一級建築士登録第328591号　設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title　教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client　曽於市
Name of Drawing　電気設備 特記仕様書-1
Scale　A1: N.S.　A3: N.S.
Architect
Drawn by
Checked by
Date　2026.09.30
E-101

特記仕様書-2

S:N.S.(A3)

仕様書

1. 工事概要

(1) 工事名称　　末吉小放課後児童クラブ施設改築電気設備工事

(2) 工事場所　　鹿児島県曽於市末吉町上町7丁目1−1

(3) 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一	建築基準法 別表第一(い)
末吉小放課後児童クラブ施設	木造	地上1階	E-101による	15項	(2)

(4) 工事種目(○印を付けたものを適用する)

建物別及び屋外 工事種目	児童クラブ		備考
○ 電灯設備	一式		
動力設備			
電熱設備			
雷保護設備			
受変電設備			
静止形電源設備			
発電設備			
○ 幹線設備	一式		
○ 接地設備	一式		
航空障害灯等設備			
○ 構内情報通信網設備	配管・配線		アクセスポイント・盤内機器・サーバーのアップデート及びシステム構築　プロバイダとの契約　別途工事
○ 構内交換設備	一式		電話会社やプロバイダとの契約　別途工事
情報表示設備			
映像・音響設備			
拡声設備			
○ 誘導支援設備	一式		
○ テレビ共同受信設備	一式		
監視カメラ			
機械警備設備			
駐車場管制設備			
○ 非常警報設備	一式		
中央監視制御設備			
時刻表示設備			
○ 構内配電線路設備	一式		
○ 構内通信線路設備	一式		

(5) 指定区分　・無 ⊙有　(工期 建築特記による)

2. 工事仕様

(1) 共通仕様

1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(着工時最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(着工時最新版)」(以下、「標準図」という。)による。

2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、機械設備工事の工事仕様書は(/)図、建築工事の工事仕様書は(/)図による。

3) 機器は原則国土交通大臣認定工法による仕様とする。

4) **特記事項は ⊙ 印の付いたものを適用する。⊙ 印の付いたものは、※印の付いたものを適用する。**
⊙ 印と ※ 印の付いた場合は双方適用するものとし、重複項目については ○ を優先するものとする。

4) 特記仕様書-1と特記仕様書-2"4 で齟齬がある場合は、1を優先する。

5) 現場での変更内容に関して、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(平成27年法律第53号)」【建築物省エネ法】及び、エネルギーの使用の合理化等に関する法律(住宅・建築物関係)に変更が生じた場合は再計算を行い、資料を提出すること。

※ 一般共通事項

※ 機材等	(1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 (2) 化学物質を放散する建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

	5) 上記1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料
規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種	① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第50条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③ 旧JISのEo規格品 ④ 旧JISのFco規格品

※ グリーン購入法	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、配慮事項を満たすものとする。
・ 室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監理者に報告すること。 測定はパッシブ型採集機器により行う。 測定対象室　・図示　・ 測定箇所数　・図示　・
※ 機材の品質・性能証明	設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関((社)公共建築協会他)が発行する資料等の写しを監理者に提出して承諾を受ける。
※ 主任技術者等	下記資格を証明する資料を監理者に提出する。 ※ 資格の区分1) (イ) 建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という。)のうち、1級の電気工事施工管理の検定種目に合格した者 (ロ) 技術士法(昭和58年法律第25号)による第二試験のうち、技術部門を電気・電子部門合格した者 ・ 資格の区分2) (イ) 技術検定のうち、1級又は2級の電気工事施工管理の検定種目に合格した者 (ロ) 資格の区分1)の資格を有する者
※ 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要　※ 不要
※ 技能士の適用	※ 電気工事士　・配管施工(配管工事)　・建築板金施工(ダクトおよび取付け) ・ 熱絶縁施工(保温工事)
※ 監理者事務所	⊙ 設けない　・設ける　・建築特記による。
※ 工事用電力・水・その他	この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて受注者の負担とする。
※ 工事用仮設物	構内につくることが　⊙ できる　・できない
※ 足場・さん橋類	・ 本工事で設置とする。 ⊙ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 改修標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。 ・ 内部仮設足場等　(・ 種 ・ 種) ・ 外部仮設足場等　(・ 種 ・ 種)
※ 建設発生土の処理	⊙ 埋戻し後の建設発生土は、監理者が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 現場説明書による。 ・ 構外搬出後適切に処理。
※ 埋め戻し土・盛土	⊙ 根切り土の中の良質土　・山砂　・建築特記による。
※ 他工事との調整	(1) 見えがかりとなる一連の設備機器やプレート類等、建物の仕上げに関連する要素に関しては、原則として全ての材料について工事に先行して材料見本を提出し、監理者の承認を受けること。 (2) 総合図で他工事と調整を行う。 (3) 図面に特記無き場合は、別表「工事区分表」による。 (4) 別途工事項目についても、機器仕様、配線ルート等について別途工事業者との調整を行うこと。
⊙ 案内板	機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の案内板を機械室に設ける。 案内板の大きさは、約 0.5 ㎡ とする。
※ 機材の承諾図	国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の電気設備工事機材承諾図様式集(着工時最新版)によるほか、監理者の指示による。
※ 総合調整	⊙ 本工事　・別途工事
※ 電源周波数	・ 50Hz　⊙ 60Hz
※ 容量等の表示	(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 燃料消費量は、原則として表示された数値以下とする。
※ 耐震措置	設備機器の固定等は、すべて「建築設備耐震設計・施工指針(最新版)」により行う。 ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平震度K 及び設計用鉛直震度Kv(K /2)Hを用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

※ 書類の書式等	・ 建築特記による、ただし設備に関わる承認図/試験関係書類は以下による。⊙ 以下による 実施設計図書(契約時) 下記の部数提出のこと。(図面ファイル、観音製本は全て背表紙・表題記入のこと)

		発注者用	監理者用
観音製本	A3判	1部	1部
上記図面のCADデータ	CD-ROM	1組	1組

本工事の施工に関して提出する書類は次により、書式(提出部数)は別に定める。ただし、これに定めのないものは、監督職員が指示する書式による。

1.工事施工における提出書類は、次による。部数は監督職員の指示による。

No.	区分		書類名	発注者	監理者	施工者返却用	計	備考
1	契約書類	※	着工届	1			1	A4サイズ
2		※	工程表	1			1	A4サイズ
3		※	建設業退職金共済証紙購入状況報告書	1			1	A4サイズ
4		※	現場代理人及び主任技術者等通知書	1			1	A4サイズ
5		※	代理人及び主任技術者等経歴書	1			1	A4サイズ
6		※	技能検定合格証明書・監理技術者資格者証等	1			1	A4サイズ
7		※	健康保険証の写し	1			1	A4サイズ
8		※	火災保険証の写し	1			1	A4サイズ
9		※	下請予定表	**	**	**	**	A4サイズ
10	施工計画書	※	全体工程表	1	1	1	3	A4サイズ
11		※	有資格者名簿	1	1	1	3	A4サイズ
12		※	協力業者選定届	**	**	**	**	A4サイズ
13		※	現場組織表	1	1	1	3	A4サイズ
14		※	緊急連絡先一覧表	1	1	1	3	A4サイズ
15		※	施工体制台帳	1	1	1	3	A4サイズ
16		※	施工計画図	1	1	1	3	A4サイズ
17		※	施工体系図	1	1	1	3	A4サイズ
18		※	施工要領書	1	1	1	3	A4サイズ
19	承諾書類	※	使用材料承諾願い	1	1	1	3	A4サイズ
20		※	機器承諾図	1	1	1	3	A4サイズ
21		※	機器チェック図	**	**	**	**	A4サイズ
22		※	機器搬入計画図	**	**	**	**	A4サイズ
23	提出図面	※	総合図 注3	1	1	1	3	A3サイズ
24		※	施工図 承諾図	1	1	1	3	A3サイズ
25	一般書類	※	打合議事録 注4	1	1	1	3	A4サイズ
26		※	工程表(月間)	1	1	1	3	A4サイズ
27		※	工程表(週間)	1	1	1	3	A4サイズ
28		※	見積書	1	1	1	3	A4サイズ
29		※	工事報告書(週報) 注5	1	1	1	3	A4サイズ
30		※	工事写真 注6	1	1	1	3	A4サイズ
31		※	官庁書類提出予定一覧表	1	1	1	3	A4サイズ
32		※	施工図リスト及び提出工程表	1	1	1	3	A4サイズ
33		※	施工要領書及び提出工程表	1	1	1	3	A4サイズ
34		※	試験結果報告書 ・迷走電流の調査 ・接地抵抗の調査	1	1	1	3	A4サイズ
35		※	願書	1	1	1	3	A4サイズ

注1: ※ 印のついた書類は、必ず工事着手前に提出のこと。その他の書類については、部数・書式等について打合せの上提出のこと。提出した書類・図面等の写しは現場に常備すること。

注2: 施工に先立ち設備工事等の取り合いをデジタルデータにて記入した平面詳細図、展開詳細図、天井伏詳細図(以下「総合図」という)を作成し、監理技師の承諾を受ける。

注3: 総合図は受注者が建築・設備その他関連する工事の全体概要と相互関係を把握し、施工図作成の適正化と効率化の為活用する事を目的とし、各工事に含まれる部品、器具の類等を同一平面図 及び同一天井伏図又は展開図に網羅記入したものとする。

注4: 議事録は、受注者により総合定例会議、各分科会終了後速やかに作成され、監理技師の承諾を受け提出のこと。

注5: 所定の書式に、建築主との協議事項・指示承諾事項・検査確認事項・工事出来高・現場打ち合わせ諸事項・作業状況等を記入した工事報告と工事の進捗状況を示す写真(サービス版カラー)を添付して毎週1回、各4部を提出する。

注6: 建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改第2訂版)建築設備編」による。

注7: 主要機材の製作図、または施工図は監理者の指示する時期に提出する。

注8: 施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

注9: 確認申請、省エネ適判等に関する、計画変更および軽微変更申請の提出用図面を竣工図の先行作成として作成し、提出すること。提出時期については、監理者の指示による。

※ 施工調査

2.工事完成における提出書類は、次による。

No.		竣工書類名	発注者	監理者	備考
1	＊ ※	完成図 0) 表紙内訳 1) 工事概要 2) 契約書類 3) メーカー一覧表 4) 機器完成図 5) 各種試験成績表 6) 取扱説明書 7) 予備品及び引き渡し品リスト 8) 鍵リスト 9) 各官庁提出書類一覧表 10) 緊急時連絡先一覧表 11) 産業廃棄物管理(マニフェスト)D表 12) 組み立て保険契約書	3	1(CD-R)	計画、実績(赤書き)全体工程表含む。 財務課の契約書類の他、 監理者に提出した書類も含む。 資材業者選定届 入居者用取扱説明書含む。 鍵図面を含む。 写しの一部にも図面を添付 すること。官公署届出書を含む。
2	＊ ※	完成図(第二原図)	1		
3	＊ ※	完成図(施工図第二原図)	1		
4	＊ ※	完成図製本(A1)	3		
5	＊ ※	完成図製本(A3縮小版)	1	1	
6	＊ ※	施工図製本(原図大)	1		
7	＊ ※	施工図製本(A3縮小版)	1		
8	＊ ※	完成図データ	1	1	CAD, pdfデータ(CD-ROM)
9	＊ ※	施工図データ	1	1	CAD, pdfデータ(CD-ROM)
10	＊ ※	工事写真	1	1	デジタル, pdfデータ(CD-ROM)
11	＊ ※	完成写真	1	1	デジタルデータ(CD-ROM)
12	＊ ※	完成引き渡し図書 0) 完成引き渡し一覧表内訳 1) 完成届 2) 完成引渡書 3) 完成受領書 4) 鍵引渡書 5) 鍵受領書 6) 保証書 7) 官庁提出書類一覧表 8) 確認済証 9) 予備品引き渡しリスト 10) 各種試験成績書リスト 11) 取扱い説明書リスト 12) 完成検査、監理検査、社内自主検査記録	1 (データのみ)	1	A4ファイル+デジタルデータ 工事完了引渡証明書 保証期間が1年をこえるもの (リスト作成のこと) 消防検査済証含む
13	＊ ※	資格証明書	1		竣工日より3ヶ月以内のもの
14	＊ ※	関連業者一覧表	1		
15	＊ ※	使用材料リスト	1		
16	＊ ※	工具器具目録	1		電気、機械、監理の担当者と打合せのこと。
17	＊ ※	機器リスト	1		
18	＊ ※	メンテナンスサイクル表	1		
19	＊ ※	残工事リスト	1		
20	＊ ※	維持保全に関する説明書等	1		注10に基づく
21	＊ ※	長期修繕計画	1		竣工図に基づく。 作成要領は監理者指示による。
22	＊ ※	作業日報	1		
23	＊ ※	取扱説明書	1		監理者と打ち合わせのこと

注1: ＊の書類については、竣工引渡日提出とする。

注2: 竣工書類の用紙の規格はA4版に統一すること。(図面を除く)

注3: 書類の住所は住居表示を用いる。

注4: 竣工引渡日及び書類の日付は、別途監理者の指示による。

注5: 書類の写は正の白焼コピーとすること。

注6: 観音製本・図面ファイル等は総て背文字、表題記入のこと。

注7: 機器完成図、取扱説明図等についてはファイル綴込みとして、目次およびインデックスを入れること。

注8: ・印は併せて電子データ提出のこと。

注9: 竣工図の種類及び記入内容は監理者の承認を得ること。

注10: 竣工図は、増改築時、建物の管理に大変重要なものであるので正確かつ入念に作成する。原図は、AUTO CAD等(DWG)による作図とし、データ及びA3サイズ製本とする。

注11: 建築物等の維持保全に関する説明書等とは建築保全センター発行「管理者のための建築物保全の手引き」を参照し監理者と協議する

注12: 竣工図は監理者よりデータを受領し、同一フォーマットで作成すること。
施工図を竣工図とすることはできない。

注13: 取扱説明書はメーカーの取り扱い説明書だけでなく、設備機器の使い方等を現地写真とともに示し、運用方法が分かるように作成をすること。また、定期的にメンテナンスが必要な項目は具体的に記載し、発注者に対し説明を行う。

⊙ 事前調査　調査項目(体育館、プール等の既存改修範囲)
調査範囲(/)図による
※ 監理者の指示による。
調査範囲(/)図による
⊙ 非破壊検査

MARU。architecture　有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI　株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP　オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第104954号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第44511号

Project Title: 教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: 電気設備 特記仕様書-2
Scale: A1: N.S. A3: N.S.
Architect / Drawn by / Checked by
Date: 2026.09.30
E-102

特記仕様書-3

S:N.S.(A3)

※ 電気設備一般

※ 盤類

a. 盤面機器の表示および操作面は、監視・操作のしやすい形状および配置とする。
b. 構造は完全に接地された堅ろうな金属閉鎖箱内に所要機器類を納め、保安点検に便利な配置と保安上十分に考慮された寸法、規格をもち、前面および背面に扉または扉板を取付ける。
また、屋外に設置するときは防水構造とし、対象輻射熱による温度上昇を防止するための換気を行い、周辺の環境による箱体の腐食防止処置を施す。
c. 上記使用状態での各部の温度上昇限度は各規定の温度上昇限度を超えないこと。
d. 扉の鍵は、各工事で同一形状のものは同一鍵とする。
e. 屋外等に設置される配電盤・制御盤・分電盤において、内部が高温になる場合は、正常に動作するMCCBを設ける。
f. 屋外壁掛型の場合は径5～9mmの水抜き穴を設ける。
g. 接地側端子用バーは回路毎に区分し、絶縁抵抗が容易に測定できる構造とする。
また、箱体接地用端子を設ける。
h. 列盤内には接地母線を設け電気的に完全に接続するものとする。
i. 接地側端子用バーは回路毎に区分し、絶縁抵抗が容易に測定できる構造とする。また、箱体接地用端子を設ける。また、盤内に接地用端子を設ける。
j. 防災設備の電源回路には、その旨を赤字で明記する。

※ 計量

中央監視設備にデータを移報する電力量計は、容量に応じて可能な限り詳細な桁数まで計量できるものとし、監理者の承諾を得た上で、中央監視設備(機械設備工事)と調整を行う。

※ 電線管保護物類

a. CD管は使用不可とする。
b. やむを得ず使用する場合は監理者の承認を得ること。
ケーブルラック、ワイヤリングダクト等が電力線・通信線と共用する場合、セパレータは鋼板製とする。
c. 機械室、電気室等では、コンクリート埋設配管は行わず、露出配管とすること。

※ 電磁開閉器用押しボタン

遠方操作用押ボタンは、連用形とする。

※ 電線類

a. エコケーブルで施工し、図面中の一般ケーブルはエコケーブルに読み替える。
b. 上記は、盤内配線を含む。
c. EM電線等で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものとする。

※ 施工

※ 電源の接続

a. 電線の接続は、押しねじ接続などによるもの以外は、圧着端子及び電線コネクタを用いて行う。但し、高圧および200mm2以上の接続は圧縮端子を用いて行う。
b. 耐火ケーブル相互・耐熱ケーブル相互の接続は、消防予第123号「耐火電線等に係る接続工法の取扱いについて」によるほか、建設省住宅局建築指導課・自治省消防庁予防救急課監修「防災設備の電源と配線に関する指針」に準拠して施工する。
c. ケーブル・電線などはボックス内で十分なゆとりを持たせる。
d. 高圧ケーブルの接続および端末処理は有資格者が行う。
e. 電気配線の防爆については、労働省産業安全研究所の「工場電気設備防爆指針(ガス・蒸気防爆)」による。

※ 電線と機器端子との接続

a. 外部配線との接続用の端子・コネクタ・ジャックなどを原則として設ける。なお、端子は接続する電線の太さおよび電圧に適合した構造で、外部接続側はねじ止めのものとし、原則としてフォーク形のものは用いないものとする。符号または名称による表示を行う。
b. 機器などへの接続は十分に締め付け、振動により緩むことのないように二重ナットまたは、ばね座金を使用する。なお、締付け後マーキングを施すこと。
c. 配線工事に使用する配線は、特別に指定なき場合はJEM1134または「共住」により電線を色別する。
d. 低圧屋内配線が鋼製電線管工事・硬質ビニル管工事・合成樹脂製可とう電線管工事(PF管)・金属線ぴ工事・バスダクト工事・ライティングダクト工事・金属ダクト工事・フロアダクト工事・金属線ぴ工事・バスダクト工事またはケーブル工事の場合は弱電流電線・水道管・ガス管もしくはこれらに類するものと接触しないように施工する。
e. 防振据付けしたポンプ、空調機などへの配管は、直接これらの機器へ固定してはならない。やむを得ず固定する場合は、適当な箇所にフレキシブル電線管などを使用して振動の伝達を防止する。

※ 管及び付属品

a. コンクリート埋め込み工事に施工した電線管の管口には必ずキャップを取付ける。
b. 各種ボックスおよびその他の箇所における管の切口にはブッシングを取り付ける。
c. 管端口を直接機器に接続出来ない場合は、サービスキャップを取り付ける。
d. 上向電線管はテープ巻または、その他の方法で塵挨等侵入しないようにすること。
e. 電線管の太さは設計図による。ただし、特記のない限りPF電線管とする。
f. 分岐回路の電線管の1区間の屈曲箇所は、4ヶ所以下とし、曲げ角度の合計が270度を超えてはならない。
g. 予備配管は清掃の上、耐蝕性の呼線を挿入しておくものとする。
h. 配管埋め込みおよび貫通は監理者の指示に従い、建物の構造および強度に支障のないものとする。
i. 配管をコンクリートに埋め込む場合は、鉄筋の上部または中間に配管し、各要所を鉄筋に結束すると共にボックス型枠に堅固に取り付ける。
j. やむを得ずコンクリートに溝掘りをして配管する場合は、監理者の承認を得た後施工する。
k. コンクリートなどの造営材にサドル止めをする場合は、カールプラグまたは埋め込みボルトとする。
m. 外壁、屋上スラブに配管埋設を行わない。
n. 地中引込間には防水鋳鉄管を使用する。

※ 電線本数管路など

分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数及び管経等は、監理者の承諾を受けて変更しても差し支えない。
また、機械室等の床配線は図面上PF管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。

※ 金属製電線管の塗装

下記の露出配管は塗装を行う。
※ 屋外　※ 屋内(監理者と相談のこと。ルーバ天井等、天井裏が見える場所では吊材塗装も含む)

※ 位置ボックス、ジョイントボックス等

a. 管のこう長が30m以上の場合は、設計図に記載のない場合でも通線のしやすいようプルボックスまたはジョイントボックスを設けるものとする。
b. プルボックスまたはジョイントボックスは、点検できない箇所に取り付けてはならない。いんぺい部分に取り付けるプルボックス近くに点検口を設ける。尚、点検口の裏面には、プルボックスの用途を明記するものとする。また、ジャンクション・ボックス面にはその用途を明記する。
c. プルボックス内の配線は整理札を取付け、送り先を明示する。
d. 床上用アウトレットに使用するボックスは、特記のない限り、高低水平調整装置カバーを使用する。
e. 外壁には原則としてボックスを取り付けないものとし、やむを得ず取り付ける場合は、結露防止を考慮する。
f. 電力用位置ボックスを通信情報設備の配線と共用する場合は、配線相互が直接接触しないよう絶縁セパレータを設ける。

※ 管の接続

a. 管とボックスとの接続またはダクトへの接続は、内外両面にロックナットを用いて十分に締め付け行うとともにブッシングを取り付ける。電線管は、ボックス内に必要以上に突出させてはならない。
b. ねじ接続による電線管は、使用前に必ずねじを切り直す。ただし、ねじの切過ぎをしないこと。
c. ボンドはニ重に折り返して、0.5mm厚以上の銅板製クリップ止めとする。
d. 管の継目はカップリングの中央に来るよう施工する。
e. 配管およびボックスを外壁に取り付けるときは、駆体と絶縁しパッキングによる防水処理を施す。

※ 配管の養生および清掃

a. 管路の内部は監理者の指示する時期および入線前に十分清掃の上呼線を挿入する。
b. コンクリート埋込工事に用いるボックス類は仮わくを取り外した後、清掃し、内面には絶縁性防錆塗料を施す。
c. 屋上で露出配管工事を行う場合は、防錆仕様とし、防水層を傷つけないように行う。
d. 露出立上げ配管は、床仕上げ面より100mm程度の高さのコンクリートで根巻を施すことを原則とする。

※ 通線

a. 通線を行うにあたっては、十分な余長をとり、取付器具を結線したまま引き出す事ができるよう考慮する。予備配管には呼線を挿入する。なお、竣工後であっても配管の不備により入線の困難な時は本工事者が責任をもって手直しする。
b. 垂直に配管した管内の電線は、適切な方法(竪木わく・くさび・クリートなど)による支持する。
c. 通信設備などの弱電流の配線は、下記による。
1) 同軸ケーブルの曲半径(内側半径)は、ケーブル外径の10倍以上とする。
2) ボックスまたは、端子盤から機器への引出し配線が露出する部分は、これをまとめて保護を行うものとする。

※ 合成樹脂管配管隠蔽配管の敷設

a. 管を造営材に取り付けるには、サドル・ハンガなどを使用し、その支持間隔は硬質ビニル管においては、原則として1m以下とする。合成樹脂製可とう管においては、1.5m以下とする。ただし、管端・管相互の接続点および管とボックスとの接続点では管端から0.3m以下の箇所で管を固定する。

・ 金属ダクト配線ダクトの敷設

a. ダクトの水平支持間隔は2m以下とする。また、垂直ふ設する場合は3m以下とする。ただし、曲がり部分や接続部に過大な地震力の集中がないように支持する。
b. ダクトの吊りはアングル部分で行い、鉄板部分の歪みにより電線が損傷しないよう留意し、防錆処理の上指定色塗装とする。
c. ダクト類上部に水勾配を設け、水はけを良くする。

※ フロアダクト配線ダクトの敷設

a. 原則としてジャンクションボックスおよびダクト周りにはワイヤーメッシュを床クラック防止用として、ふ設する。
レベル調整を行うこと。

・ バスダクト配線ダクトの敷設

a. ボルトの締付けは、マーキングを施すものとする。

※ ケーブル配線ケーブルの敷設

a. ケーブルが金属部分を貫通する場合は、ケーブルの被覆を損傷しないよう適当な保護物を設ける。
b. ケーブルが免震構造部分を通過する場合は、十分な余長を設け、地震力の影響を受けないようにする。

※ ケーブルラックの敷設

a. 水平から垂直への立上り部は建物の変位に耐えられる材料・工法を考慮する。
b. 屋外にふ設する場合は、防錆仕様とし、ケーブル保護用カバー、底網付とする。また、メンテナンス経路にふ設するものは、歩行対応型とすること。

※ 架空配線建柱等

a. コンクリート柱は、JISA5309「遠心カプレストコンクリートポール」に適合したものとする。
b. 碍子は、架線の状況により、ピン碍子などを使用する。高圧用のものは、陶体と心棒との接続剤にポルトランドセメントを使用する。
c. 電柱には、所定の太さの支線または、支柱を設ける。

※ 地中配線管路等の敷設等

a. 暗きょ式は設計図による暗きょを構築し、内壁面にケーブル重量に耐える受金物(溶融亜鉛メッキ)を堅固に取付け、これにケーブルをふ設する。
b. 直埋式はコンクリートトラフ、半割管などを掘巡の床面に上向けにして継目なく敷ならべケーブルを引込む。埋戻しはトラフ内に清浄な川砂を充填し、コンクリート蓋を設けケーブルを保護する。
c. 配管の埋設深さは車路などでは管上部で地表下600mm以上とし、そのほか一般部分では300mm以上とする。
d. 使用するコンクリートは原則として普通コンクリートとし、規格品または調合比1:2:4の現場練りとする。モルタルは調合比1:3とする。
e. マンホールは、鉄筋コンクリート造とし、壁にはケーブルおよび接続部品取付け用の支持金物を設け接地を施す。底部は、マンホール内のたまり水を排除できるような構造とする。上部には鋳鉄製マンホール蓋を設け道路および重量物の圧力を受けるおそれのある場所は想定車両に対応した耐重型を設ける。耐重型マンホール・ハンドホールは強度計算を行い監理者の承諾後施工する。
f. 各マンホールには原則としてタラップを設置する。
g. ハンドホールにはワイヤ等の支持材を設置し、ケーブルが底に接触しないように施工すること。
h. 埋立地等地盤沈下が予測される地域における埋設管・ハンドホールなどは十分な対策を検討し、監理者の承認を受けた後、施工する。
i. 寒冷地域では、凍害などに対する必要な対策を施す。
原則、屋外配管の埋設深さは凍結深度***以下とする。その他、使用材料・施工方法などについて承認を受けた後、施工する。

※ 地中線の埋設標

構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。
・ 鉄製(　箇所)　　・ コンクリート製(　箇所)

※ 建物導入部の変位吸収方法

a. 変位吸収の対象　※ 圧密沈下　※ 液状化　・不同沈下
b. 変位吸収量は以下の通りとする。
(⊙ 200mm以下　・ 600mm以下　・ 1,000mm以下)
c. 変位吸収方法
標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。

※ 電話用配線等

a. 接続しない予備心線は、十分な余長をもたせておき、成端を行う。
b. 通信用屋内ケーブル、信号線等と、交流電源線との離隔距離は0.15m以上とし、これによりがたい部分はセパレータなどを用いて直接接触しないようにする。ただし、信号線および交流電源線にシールドケーブルを用いる場合は、この限りではない。

※ スリーブインサート

a. 機械・器具・盤類および配管などの設備に必要なアンカーおよびインサート類の仕様・保持・埋込み工法・施工範囲について監理者の承認を受ける。
b. 梁・壁を貫通するスリーブの材料は鋼管または鉄板を原則とし、埋込工法・施工範囲について監理者の承認を受ける。
c. 鉄骨または鉄筋への溶接を必要とする時は、鉄鋼・鉄筋に悪影響のないことを確かめた上で監理者の承認を受ける。
d. 管路の埋込みまたは貫通に際しては、建物の構造強度・防水および結露防止に支障のないことを監理者の確認した上で監理者の承認を受ける。

※ 誘導電圧対策

1) 静電誘導ノイズ対策として、ノイズ源と信号線は十分な離隔をとるとともに、必要に応じてシールド付を用いる。
2) 電磁誘導ノイズ対策として、電力線と信号線の平行ふ設は避ける。平行する場合は、信号線をシース線ペア線として金属管に収める。
3) 同一ケーブルラックに強電・弱電線が一緒にふ設する場合は、出来る限り離隔を取り、セパレータを設ける。
4) インバータを使用する機器への出力側電源線は金属管に収めるか、シールドケーブル配線とする。またインバーター本体より電動機までの電源およびアース線を平行して供給すること。
5) 雷害の発生の恐れのある地域に設置する弱電流装置には、信号入出部および電源部の1次側に避雷装置を設ける。

・ 塩害対策(塩害地区の場合)

1) 屋外に設置される盤類は・耐塩仕様　・重耐塩仕様(配電盤類の塗装技術(JSIA-T1020))に準ずる仕様とする。
2) 屋外に設置される器具類は・耐塩仕様　・重耐塩仕様とする。
3) 部材・ボルト類はステンレスを原則とする。

※ 防火区画貫通処理

a. 防火区画を貫通する配管・配線は、国土交通省認定工法にて貫通部を処理すること。
b. 防火区画中空壁に埋め込むボックス類は、国土交通省認定工法にてボックス及び管路口を処理すること。

※ 遮音処理

a. 遮音区画を貫通する配管・配線は、騒音の透過がなきよう貫通部を処理すること。

※ 取付高

壁付、壁掛形の機器等の取付高は、図面に記載のない場合は原則として下表による。

設置個所	設置高さ	取付溝(mm)
ブラケット(一般)	床上～中心	2,100
〃 (踊場)	〃	2,500
〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床上～下端	1,500 以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000 以下
スイッチ(一般)	床上～中心	1,300
〃 (身体障害者用)	〃	1,100
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット(一般)	〃	300
〃 (和室)	〃	150
〃 (台上)	台上～中心	150
コンセント(車庫)	床上～中心	800
引込開閉器箱(低圧)	床上～中心	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,300
接地用端子箱	地上、床上～中心	500
避雷接地用端子箱	床上～下端	800
接地極埋設標	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
室内端子盤(廊下・室内)	床上～下端	300
中間端子盤(EPS・電気室)	床上～中心	1,500
親時計	〃	1,500 (上端1,900以下)
子時計、スピーカ	〃	(天井高)×0.9
アッテネータ	〃	1,300
出退表示盤	〃	(天井高)×0.9
発信器(出退表示用)	〃	1,300
インターホン	〃	1,500
身体障害者用インターホン子機	〃	1,100
呼出ボタン(身体障害者用)	〃	900
復帰ボタン(　〃　)	〃	1,800
廊下表示灯(　〃　)	〃	2,000
テレビ機器収容箱	〃	1,800
火報受信機(複合盤)	床上～操作部	800～1,500
副受信機	床上～中心	1,500
自動報機器収容箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	(天井高)×0.9
表示灯	〃	(天井高)×0.8
連動制御器(自動閉鎖)	〃	1,500
ガス漏れ検知器(LPガス)	〃	300
〃 (都市ガス)	天井面～中心	(天井面)-200

(備考)(天井高)×0.9及び(天井高)×0.8は天井高が2500～3000mmの場合に適用する。
(備考)意匠設計者・建築工事監理者に設置位置の最終確認を行う。

※ 検査及び試験

下記項目に関しては、最終承認されたシステム、内容、容量に基づいて、計算書を作成し、設計図と相違していない事を確認し、監理者の承認を受ける。また、施工後、性能確認の為に、必要に応じて、測定・試験等を行う。
※ 短絡電流(保護協調)
※ 高調波流出電流・電圧
・ 変圧器容量
・ 力率改善用コンデンサ容量
・ 自家発電機容量および関連設備
・ 直流電源装置容量
※ 幹線(遮断容量・電圧低下)
・ 避雷針・航空障害灯およびアンテナマスト風圧荷重
※ 照度
・ 電話交換機容量
・ 増幅器容量
※ テレビ共同受信設備出力レベル
※ 耐震(各設備毎、配電盤、非常用発電機、直流電源装置、自動火災報知設備、受変電設備、電話交換機、交換情報通信網ラック類)
・ 換気(キュービクル、蓄電池)
・ 騒音

工事種別毎細目

※ 電灯設備

※ 照明器具類

a. 原則として、見本を提出し、監理者の承認を受ける。
b 天井用器具におけるルーバーや1.5kgを超えるダウンライト、システム天井用器具などは、落下防止を考慮する。
c LED照明は同一空間において、色温度に差異が生じないよう選定を行う。

※ 機器の取付及び接続

a. 器具の取付に当たっては、器具内の温度が上昇しないよう熱抜きなどを計画し、照明器具の機能低下や寿命低下のないように十分な放熱を考慮する。

※ 照度測定箇所数

a. 全室、廊下(一般照明、非常用照明共)　各室2箇所以上。

※ フロアベース

フロアベースは、空転防止リング付とする。

※ プレートの材質

フラッシプレート　※ 金属製　・ 樹脂製
フロアプレート　・ 砲金製　※ アルミ合金製

・ 動力設備

※ 配管配線工事

a. 盤以降負荷側配管は原則として床埋込みをしてはならない。現場納まりの都合上やむをえない部分については監理者の承認を受ける。
b. 地下水槽・ハンドホールなど、水気のある場所から制御盤に直結する管路は、防湿、防臭措置を施す。

※ 機器取付

a. 原則として一次側電源の有無を示す表示灯を設ける。
b. インバーター機器については、Ki≦1.8となるよう高調波対策を行う。

・ 電熱設備

※ 一般事項

a. 設備される主要機器の種類、性能、定格、数量などは設計図および「標準仕様書」による。
b. 配管・配線工事および機器・盤類据付・取付け工事は施工による。

・ 雷保護設備

※ 一般事項

a. 受雷部支持金物は、特記のない限りSTS℡とする。
b. 板状接地極は、900mm×900mm×t1.5以上の銅板とし、接地棒などは設計図による。

※ 接地極の埋設

a. 銅板は極力垂直に埋設するものとし、水平に埋設してはならない。

⊙ SPD

a. 下記の設備にSPD対策を見込む
⊙ 低圧配電盤　⊙ 接地端子盤接地間
・ 動力盤　⊙ 電灯盤　⊙ 端子盤

・ 受変電設備

※ 一般事項

a 主要機器取付場所(Tr.Scなど)には、機器仕様を明記した銘版を視認しやすい場所に取り付ける。
b 受変電設備機器承認にあたっては、電力会社との協議書・受電点逆断容量計算書、保護協調、変圧器容量計算、高調波流出電流・電圧の計算書を作成し、監理者へ提出する。
c キュービクル内充電部に容易に触れないよう、遮蔽板を設けること。

※ 構造一般

a. キュービクルは2.3mm厚以上の鋼板製で機械的に堅固で、振動・衝撃に耐える構造とし、指定色仕上を行う。
b 背の高い盤は、転倒防止を考慮すること。

※ 継電器盤及び計器盤

a. 盤は、JEM 1133(鋼板製垂直自立形)および垂直支持形配電盤の寸法)の該当事項による。
b. 瞬時要素の動作に支障のない適電流定数とすること。

※ 変圧器盤等

a. 原則として変圧器には警報接点付ダイヤル温度計を取付ける。
b. 変圧器防振対策　⊙ 防振架台(固有振動数4Hz、耐震ストッパー付)　・ 防振ゴム
c. 盤内への配線・配管貫通部は粉じんが入らないように考慮すること。

※ 配管配線工事

a. 屋外に敷設する高圧エコケーブルは、端末にシュリンクバック対策の収縮抑制部材を施工する。

※ 工事範囲

※ 電気室等出入口に消防条例に基づく指定標識の設置工事
※ 取引用(受電用)PCT及び取引用計器類の取付工事は別途。但し、必要な配管類は本工事に含む。
※ エレベーター及び中央監視への信号供給配線工事
※ 防火区画貫通処理工事
※ 各種申請図書類の作成業務(申請手数料含む)

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井　一得 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: 電気設備 特記仕様書-3
Scale: A1: N.S. A3: N.S.
Architect
Drawn by
Checked by
Date: 2026.09.30
E-103

特記仕様書-4

S:N.S.(A3)

・ 静止型電源設備

※ 一般事項	a. 商用電源遮断時、自動切替にて連続電源供給なものとする。ただし、UPS設備を除いて瞬断を可とする。
※ 構造一般	a. キュービクルは2.3mm厚以上の鋼板製で機械的に堅固で、振動・衝撃指定色仕上を行う。
※ 整流装置	a. 分岐回路のうち、監視回路および継電器回路にはシリコンドロッパを組込み、負荷電圧を調整する。 b. 設備する変圧器・整流器などは連続運転に耐える構造とし、各部の温度上昇を十分に考慮する。
※ 蓄電池	a. 蓄電池の収容部には有効な換気孔を設け、内面には耐酸またはアルカリ塗装を施す。
・ UPS	a. 設備する機器、部品などは長時間の連続運転に耐える構造とし、塵埃の侵入を防ぎ、かつ運転発生音を極力抑えるもとする。 b. 下記の環境条件において正常に動作するものとする。 温度　5～40℃ 湿度　30～60%RH 高圧回路を有する場合は3.1受変電設備工事の項に準ずる。盤内の照明は、蛍光灯を原則とするが、ノイズの影響が予測される場合は、白熱灯を使用する。
※ 工事範囲	・ 各種申請図書類の作成業務（申請手数料含む） ・ 蓄電池室出入口に消防条例に基づく指定標識の設置工事

・ 発電設備

※ 一般事項	a. 設置条件は屋内の場合、周囲温度最低5℃、最高40℃とし、湿度は40～80%RHとする。ただし、5℃以下となる場合は寒冷地対策を行うものとする。屋外の場合は、設置場所の環境条件に考慮して対策を行う。 b. 当該工事が補助または共同事業等の助成制度の適用を受けている場合は、その性能を満足するとともに、助成制度の適用期間を機器の保証期間とする。また、契約工期内の事務手続き、実績報告、検査立会い等について協力すること。 c. 納入仕様書提出時に騒音計算書を提出して、監督者の承認を受けること。
※ 空気槽及び蓄電池等	a. 空気槽および始動用蓄電池 空気槽および始動用蓄電池設備は、故障時には発電機盤に事故表示をし、警報を発するものとする。
※ 減圧水槽及び冷却塔等	a. 減圧水槽を設置するときは、低水位警報を設ける。 b. 冷却温度は常に運転可能な温度を保つこと、規定以下の場合は予熱装置又は不凍液を設けるものとする。
※ 消音器等	a. 排気管および消音器は、ロックウールなどにて断熱処理の上防蝕金属板にて化粧カバーをする。 b. 排気が逆流する恐れのある場合は、逆流防止弁を設ける。 c 点吊のものは、地震時に変異が過大とならないように、耐震支持をする。
※ 配電盤等	a. 法規上必要とする各種接地工事は、接地端子盤から分岐配線をする。
※ 主燃料槽等	a 竣工引渡し時は満油にして引き渡すものとする。
※ 配管材料等	a. 燃料配管系統の原動機および燃料小出槽への接続には、ステンレス製フレキシブルジョイントを使用する。 b. 建物導入部等の変異の恐れのある個所の燃料配管は可とう性のあるものを使用する。
※ 工事範囲	※ 機器及び盤相互間の配線工事 ※ 消音器の納入取付及び煙導工事 ※ 主燃料槽の納入据付、警報、連絡用通信装置の納入据付工事 ※ 小出槽の納入据付、警報、連絡用通信装置の納入取付工事 ※ 出入口に消防条例に基づく指定標識板の設置工事 ※ 給油口ローリーアース及び発電機室との連絡用インターホン設備工事 ※ エレベータ及び中央監視盤への信号供給配線工事 ※ 油圧装置、圧縮装置、避雷設備及び照明装置の納入据付工事 ※ 排熱回収装置、排気ガス処理装置等の納入据付・試験調整及びこれらに対する配管配線工事 ※ 各種申請図書類の作成業務（申請手数料含む）

※ 幹線設備

※ 一般事項	a. 制御幹線・弱電および電力幹線は十分な離隔(200mm以上)をとるものとする。 十分な離隔が確保できない場合には、金属製のセパレーターを設けること。 b. 幹線ふ設後に導体接続部分の増締めマーキングを行うものとする。
※ 工事範囲	※ 接地工事で施設する接地端子盤より各盤・配管等までの接地幹線工事 ※ 各種の端子への配線の接続及び回路各識別用標識の取付工事

※ 接地設備

※ 一般事項	c. 原則として接地幹線は分岐方式とし、盤間渡りはしないものとする。
※ 接地極	接地極の材料は下記を参考とし、接地抵抗値を満たすように施工すること。 なお、接地棒EB(14φ)の長さは1,500mm以上とし、10φ/14φはW=40としても差支えない。

接地の種類	記　号	接地抵抗値
※ 共同接地	$E_{A,D}$	10Ω以下
・ 共同接地	$E_{A,C,D}$	10Ω以下
・ A種接地	E_{A}	10Ω以下
※ B種接地	E_{B}	150/1 Ω以下
・ C種接地	E_{C}	10Ω以下
※ D種接地	E_{D}	100Ω以下
※ 高圧避雷器	E_{LH}	10Ω以下
・ 低圧避雷器	E_{LL}	10Ω以下
・ 避雷設備	E_{L}	10Ω以下
・ 交換機用	E_{t}	10Ω以下
※ 通信用	E_{At}	10Ω以下
・ 通信用	E_{Ct}	100Ω以下
※ 測定用	E_{0}	

※ 接地	a. 接地端子盤は盤類に準ずるほか、下記による。 1) 接地端子盤内には、測定端子を取り付ける。 2) 接地端子盤には扉裏面に接地埋設図を表示する。 3) 盤内接地線には、表示札を取り付ける。 b. 指定の接地抵抗値が得られない場合は、監理者と協議の上、補助棒接地極を埋設し、指定値を確保する。 c. 施工後、接地端子盤に、測定値・測定年月日・接地種別名などを記入する。 d. 接地極の接地は、なるべく湿気の多い場所を選び、原則として常水面下とし、地表面から接地極の上端0.75m以上の深さに埋設する。 e. 寒冷地域では凍結深度の確認をした上で監理者の承認を得て埋設深さを決定する。 f. 接地抵抗低減剤を使用する場合は、監理者の承認を得て使用する。 g. 接地極に対する腐食を検討し、監理者の承認を得て施工する。 h. A種接地の内、通信用のものは5Ω以下が望ましい。 i. ELB用接地はELBで保護されている電路とされていない電路で、接地線を共用しないこと。 j. 接地抵抗値は、埋設時から竣工引渡し時までの変化を確認できるよう毎月の試験記録を行う。

・ 航空障害灯等設備

・ 一般事項	a. 断芯、故障表示を中央監視盤の表示用として外部接点を設ける。 b. ヘリポート等付近には防災センター等との連絡用インターホンを設けること。
・ 工事範囲	・ 中央監視盤への信号線工事 ・ 各種申請図書類の作成業務（申請手数料含む）

※ 構内交換設備

※ 端子盤	a. 電話端子盤内に他設備用端子を設ける場合は、1.6mm以上の鋼板製セパレータを使用し、着脱可能なものとする。また、用途毎に表示を設けること。
・ 電話機	a. 壁掛形については、原則として受話器の落下防止策を施すこと。
※ 工事範囲	※ エレベーター制御盤への電話配線工事含む ※ 機械警備用の電話配線工事含む

※ 構内情報通信網設備

※ 一般事項	a. 設備される主要機器の種類、性能、定格、数量などは設計図および「標準仕様書」による。 b. 配管・配線工事および機器・盤類据付・取付け工事は施工による。

※ 拡声設備

※ 一般事項	a. 設備される主要機器の種類、性能、定格、数量などは設計図および「標準仕様書」による。 b. 配管・配線工事および機器・盤類据付・取付け工事は施工による。 c 音声作成費用を含むこと。
※ 工事範囲	※ エレベーター制御盤への出力供給配管配線工事含む ※ 各種申請図書類の作成業務（申請手数料含む）

※ 映像・音響設備

※ 一般事項	a. 設備される主要機器の種類、性能、定格、数量などは設計図および「標準仕様書」による。 b. 配管・配線工事および機器・盤類据付・取付け工事は施工による。 c. 赤外線ワイヤレスマイクを適用する際に日射対策を行う事。

※ 誘導支援設備

※ 一般事項	a. 相手番号および名称一覧表を見やすい場所に取り付けること。 b. 壁掛形については原則として、受話器の落下による破損防止策を施すこと。 c. カメラ付ドアホンのカメラ部は原則として映像範囲を調整する機能を有する。

※ テレビ共同受信設備

※ 一般事項	a. 60mをこえる高さに設置するアンテナは、耐風速80m/sとする。 b. 特記なき場合、機器は双方向対応型とする。
※ 工事範囲	※ 電界強度の測定　※事前　※ 上棟　※ 竣工 ※ 電波障害調査　※ 事前　※ 上棟　※ 竣工

※ 監視カメラ設備

※ 一般事項	a. 設備される主要機器の種類、性能、定格、数量などは設計図および「標準仕様書」による。 b. 配管・配線工事および機器・盤類据付・取付け工事は施工による。

※ 機械警備設備

※ 一般事項	a. 設備される主要機器の種類、性能、定格、数量などは設計図および「標準仕様書」による。 b. 配管・配線工事および機器・盤類据付・取付け工事は施工による。

・ 駐車場管制設備

・ 一般事項	a. 設備される主要機器の種類、性能、定格、数量などは設計図および「標準仕様書」による。 b. 配管・配線工事および機器・盤類据付・取付け工事は施工による。 c. 特記なき場合、精算機は高額紙幣(5000円以上)の使用を可能とする。

※ 自動火災報知設備

※ 一般事項	a. 消防防災システム、総合操作盤および防災センターの評価制度を受ける場合の申請図書作成および申請費用は、原則として本工事に含む。 b. 感知器は確認灯付とする。 c. 防火シャッターには降下中の電子ブザーを設ける。
※ 工事範囲	※ 放送設備起動用装置及びこれらに対する配管配線工事 ※ 各種申請図書類の作成業務（申請手数料含む）

・ 中央監視設備

・ 監視操作装置	a. スイッチによりキー操作の禁止を指定できる構造とし、特記がなければ監視と操作のレベル分けを行う。 b. 電源装置は、停電時に継続して監視制御が行えるものとすること。 c. 操作卓用椅子（肘掛け付）を必要数納入する。
・ 信号処理装置	a. 装置本体の故障を表示灯・ブザー・印字・音声などにより容易に判別できる機能を有するものとする。
・ 据付	a. 中央監視設備の機器類は、保守点検・誘導障害防止・操作などの関係により次の点を考慮する。 1) 装置の前後に、保守用スペースを設ける。 2) 誤動作防止およびシステムダウンなどの原因となるノイズ対策を考慮する。 3) 局部的な温度上昇、あるいは操作上から直射日光を避ける。
※ 工事範囲	・ オープン化に伴うバイディング作業、データ整理他の総合調整（他設備を含む）

・ 時刻表示設備

・ 一般事項	a. 設備される主要機器の種類、性能、定格、数量などは設計図および「標準仕様書」による。 b. 配管・配線工事および機器・盤類据付・取付け工事は施工による。

※ 予備品及び保守用品リスト

メーカー指定の予備品に加え、下記による。

※ 動力設備	※ ヒューズ類	実装数
	※ 表示用ランプ類	実装数の20（種別毎に1組以上）
	・ その他指定するもの（　　）	1式
・ 電熱設備	・ 表示用ランプ及びヒューズ類	実装数
	・ その他指定するもの（　　）	1式
・ 雷保護設備	予備品及び保守用品	1式
	・ その他指定するもの（　　）	
※ 受変電設備	・ 特高設備はメーカー標準の予備品・保守用品	1式
	※ 高圧設備はメーカー標準の予備品・保守用品のほか、下記による	1式
	高圧絶縁ゴム手袋・ベンチ、ドライバー等の工具・メガー・テスター・検電器	1式
	・ 絶縁マット（盤前面および裏面）	1式
	※ フック棒（2.5m・1.5m）	1式
	※ 表示用ランプ及びヒューズ類（PFを含む）	1式
	・ 瞰間計などの調整工具（VCB、VCS等使用時）	1式
	・ 遮断器運搬具（リフター）	1式
	※ フィルター（変圧器、強制空気冷却のとき、その他必要により）	1式
	・ その他指定するもの（　　）	1式
・ 静止型電源設備	メーカー標準の予備品（収納箱共）および保守用品	1式
	・ その他指定するもの（　　）	1式
・ 発電設備	メーカー標準の予備品・保守用品	1式
	機関の分解組立工具（収納箱共）及び予備品・付属品	1式
	電気式始動方式の場合：直流電源設備による予備品・付属品	1式
	・ その他指定するもの（　　）	1式
※ 幹線設備	・ その他指定するもの（　　）	1式
※ 接地設備	・ その他指定するもの（　　）	1式
・ 航空障害灯設備	・ 表示用ランプ及びヒューズ類	実装数（種別毎に1組以上）
※ 構内交換設備	※ メーカー標準の予備品（収納箱共）及び保守用品	1式
	※ ローテンションスタンド	設計図による
	※ 電話機台数	設計図による
	・ その他指定するもの（　　）	1式
※ 構内情報通信網設備	・ その他指定するもの（　　）	1式
※ 拡声設備	・ その他指定するもの（　　）	1式
※ 映像音響設備	・ その他指定するもの（　　）	1式
※ 誘導支援設備	・ その他指定するもの（　　）	1式
※ 監視カメラ	・ その他指定するもの（　　）	1式
※ 機械警備設備	・ その他指定するもの（　　）	1式
・ 駐車管制設備	・ その他指定するもの（　　）	1式
※ 自動火災報知設備	※ 保守上必要とする工具及び試験器	1式
	※ 記録用紙類	各種1年分
	※ 表示用ランプ及びヒューズ類	実装数
	・ その他指定するもの（　　）	1式
・ 中央監視設備	・ その他指定するもの（　　）	1式
・ 時刻表示設備	・ その他指定するもの（　　）	1式

MARU。architecture　有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号　高野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI　株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号　松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP　オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号　富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号　菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号　向井　一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect / Drawn by / Checked by	Date
教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事	曽於市	電気設備 特記仕様書-4	A1: N.S. A3: N.S.		2026.09.30

E-104

区画貫通処理方法

1.電線管を用いたケーブル配線の防火区画貫通部措置工法について

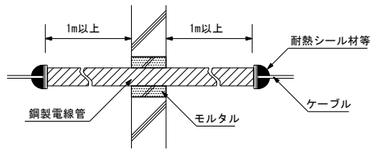
【関連法規】
法第36条、法68条の26、令第112条第15項、令第129条の2の5第1項、
平12建告第1422号

電線管を用いた防火区画貫通部措置工法については、次のとおり取り扱うものとする。

(1)防火区画等の壁〔床〕から1m突出し施工する場合
電線管の両端は耐熱シール材等で充填すること。予備配管についても同様とする。
1)コンクリート壁(ALC)(床)貫通部措置工法例を示す。(図1-1)
2)中空壁貫通部措置工法例を示す。(図1-2)
なお、片側電線管1m突出し反対側プルボックス取り付け工法例も同様の取り扱いとするが、電線管取り付け場所の制約により施工上やむを得ない場合に限る。(図1-3)

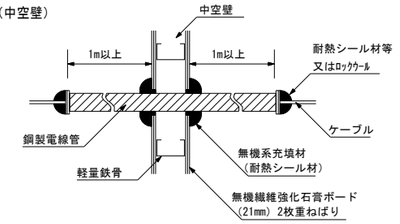
(2)防火区画等の壁(床)から1m突出し施工しない場合
令第112条第15項の規定による他、令第129条の2の5第1項第七号ロ又はハの規定に適合する工法によること。

図1-1 鋼製電線管を用いた防火区画貫通部措置工法例
（コンクリート壁（ALC）、床）



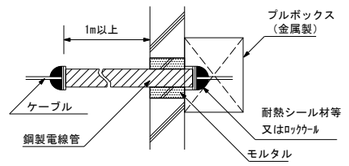
国土交通大臣認定工法
電線管(床)：PSO60FL-0464
電線管(壁)：PSO60WL-0466

図1-2 鋼製電線管を用いた防火区画貫通部措置工法例
（中空壁）



国土交通大臣認定工法
電線管(壁)：PSO60WL-9068

図1-3 鋼製電線管を用いた防火区画貫通部措置工法例
（コンクリート壁（ALC）、床貫通片側プルボックス取付）



●印を付けたものを適用する
● 令第129条の2の5の事項　● 左記規定に準拠すること。

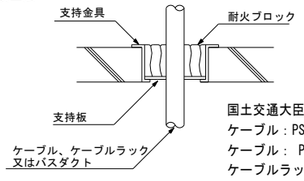
2.ケーブル配線の防火区画貫通部措置工法について

【関連法規】
法第36条、法68条の26、令第112条第15項、令第129条の2の5第1項、

ケーブルがケーブルラック等に露出配線された状態の防火区画貫通部措置工法は、令112条第15項及び令129条の2の5第1項第七号ハの規程に適合する工法によること。
ハの規程による国土交通大臣の認定を受けた代表的な工法例（概略図）を次に示す。
（図2-1,2-2）

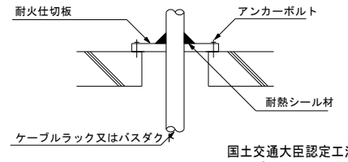
図2-1 ケーブル配線及びバスダクト配線の防火区画貫通部措置工法例
（コンクリート（ALC）、床）

A．充填工法



国土交通大臣認定工法
ケーブル：PSO60FL-0050
ケーブル： PSO60FL-0510
ケーブルラック：PSO60FL-0497

B．耐火仕切板工法



国土交通大臣認定工法
ケーブルラック：PSO60FL-0080

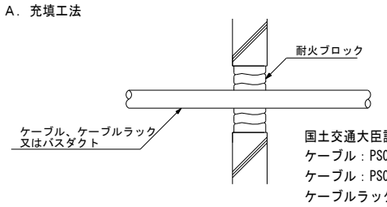
3.バスダクト配線の防火区画貫通部措置工法について

【関連法規】
法第36条、法68条の26、令第112条第15項、令第129条の2の5第1項、

バスダクトの延焼防止措置は、令112条第15項及び令129条の2の5第1項第七号ハの規程に適合する工法によること。
ハの規程による国土交通大臣の認定を受けた代表的な工法例（概略図）を次に示す。
（図2-1,2-2）

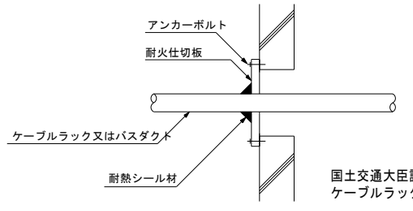
図2-2 ケーブル配線及びバスダクト配線の防火区画貫通部措置工法例
（コンクリート（ALC）、壁）

A．充填工法



国土交通大臣認定工法
ケーブル：PSO60WL-0293
ケーブル：PSO60WL-0318
ケーブルラック：PSO60WL-0231

B．耐火仕切板工法



国土交通大臣認定工法
ケーブルラック：PSO60WL-0090

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
晋 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title 教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client 曽於市
Name of Drawing 電気設備 特記仕様書-5
Scale A1: N.S. A3: N.S.
Architect
Drawn by
Checked by
Date 2026.09.30
E-105

工事区分表-1

S:1/-(A3)

発注工事区分表

【工事発注大分類】

教8-18末吉小放課後
児童クラブ施設改築本体工事

【工事発注単位】

- 本体工事
- 電気設備工事
- 機械設備工事

【工種大分類】

- 本体(建築)工事
- 付帯(外構)工事
- 電気設備工事
- 機械設備工事

※サインは、別発注(末吉小本体工事内)

電気設備・機械工事区分

電気設備・機械設備工事区分

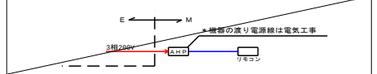
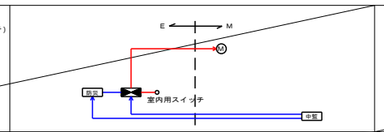
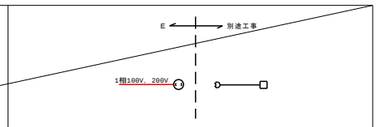
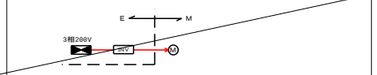
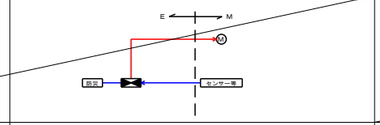
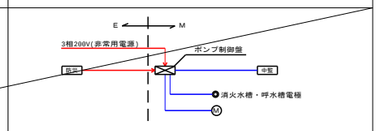
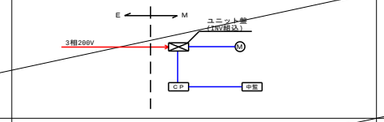
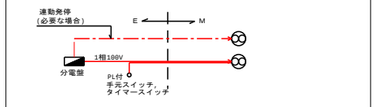
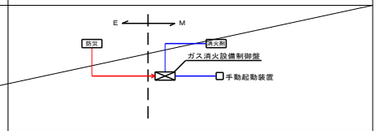
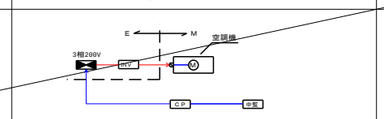
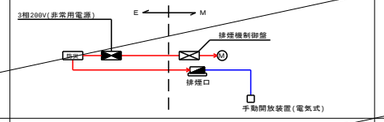
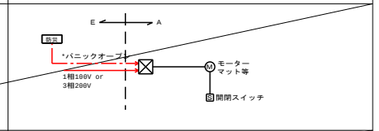
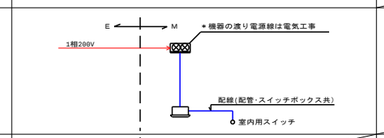
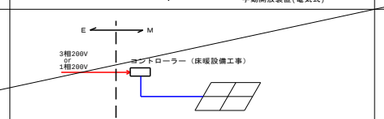
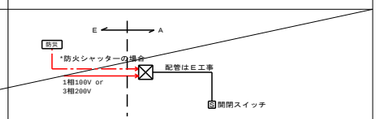
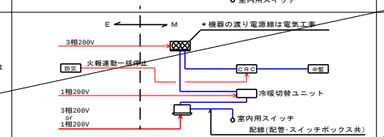
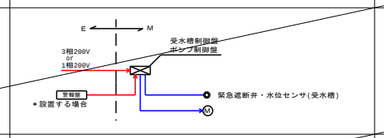
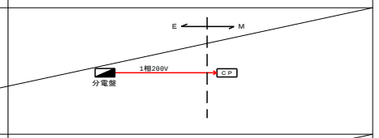
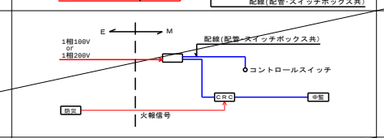
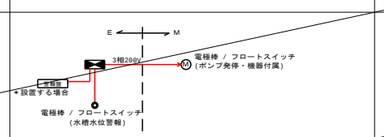
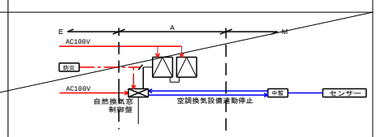
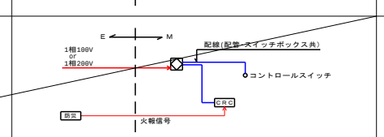
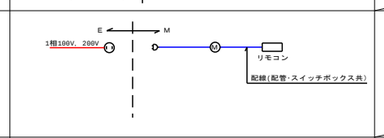
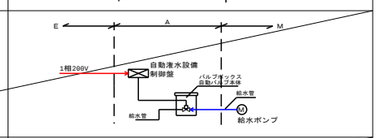
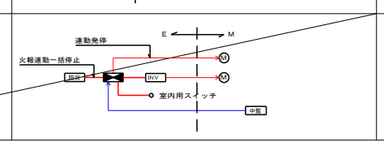
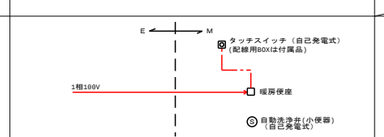
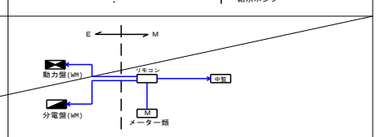
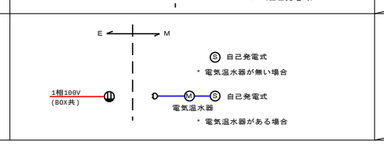
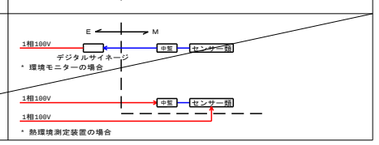
凡例・注記) 機器等への配管・配線接続は下記の工事範囲とする。

：電気設備工事　：機械設備工事　：建築(外構)工事　＊機械設備工事：空調設備工事/衛生設備工事を示す。

E ： 電気設備工事　：動力制御盤　防災盤 ： 防災盤　集中リモコン ： 集中リモコン　：衛生器具

M ： 機械設備工事　自動制御盤 ： 自動制御盤　インバーター ： インバーター　：コンセント

A ： 建築又は外構工事　中央監視盤 ： 中央監視盤　：設備機器　：防水コンセント

1	空冷ヒートポンプチラー 空冷ヒートポンプチラー：AHP		10	・送風機 - 遠隔発停(3相) (適方発停スイッチ、適方タイマースイッチ)		20	厨房機器	
2	空調ポンプ		11	・送風機 - 遠隔発停(3相) (サーモ)		21	消火ポンプユニット	
3	・空調機（エアハンドリングユニット） ユニット盤のある場合		12	送風機(1相) 送風機： (現地発停スイッチ、タイマースイッチ 強弱スイッチ等)		22	・不活性ガス消火設備	
4	・空調機（エアハンドリングユニット） ユニット盤がない場合 ＊空調機外部に端子盤を設け、 機内配線は機械設備工事とする。		13	・機械排煙		23	・自動ドア 自動ドア：☒	
5	PAC空調機 PAC室外機： PAC室内機： ＊室外機-室内機間の制御線は冷媒管共巻 （機械設備工事）とする。		14	床暖房		24	・シャッター シャッター：☒	
6	・PAC空調機(冷暖同時) PAC室外機： PAC室内機： ＊室外機-冷暖切替ユニット-室内機の制御線は 冷媒管共巻（機械設備工事）とする。		15	・給水ポンプユニット ・井水揚水ポンプユニット ・加湿用給水ポンプユニット ・雑排水ポンプユニット ・湧水排水ポンプ(制御盤内蔵型含む) ・汚水排水ポンプ ＊ポンプ制御盤がある場合 受水槽		25	・自動制御盤	
7	・ファンコイルユニット		16	・給水ポンプユニット ・揚水ポンプユニット ・加湿用給水ポンプユニット ・雑排水ポンプ 湧水排水ポンプ ・汚水排水ポンプ ＊ポンプ制御盤がない場合		26	・自然換気電動窓	
8	全熱交換器 全熱交換器：☒		17	・電気温水器 ・ヒートポンプ式給湯器 ・ガス給湯器		27	・自動潅水設備	
9	・送風機 - 現地発停(3相) (現地発停スイッチ)		18	衛生器具廻り 暖房便座：□		28	・計測/計量	
			19	自動水栓		29	・環境モニター ・熱環境測定装置	

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ
一級建築士事務所
東京都知事登録第59575号

高野 洋平
一級建築士国土交通大臣登録
第329238号

DAI
株式会社Dai建築DESIGN
一級建築士事務所
鹿児島県知事登録第1-6-1号

松葉瀬忠夫
一級建築士交通大臣登録
第141001号

ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
一級建築士事務所
東京都知事登録第35571号

富岡 良太
一級建築士登録第355621号
構造設計一級建築士登録
第10495号

菅 健太郎
一級建築士登録第318575号
設備設計一級建築士登録
第4096号

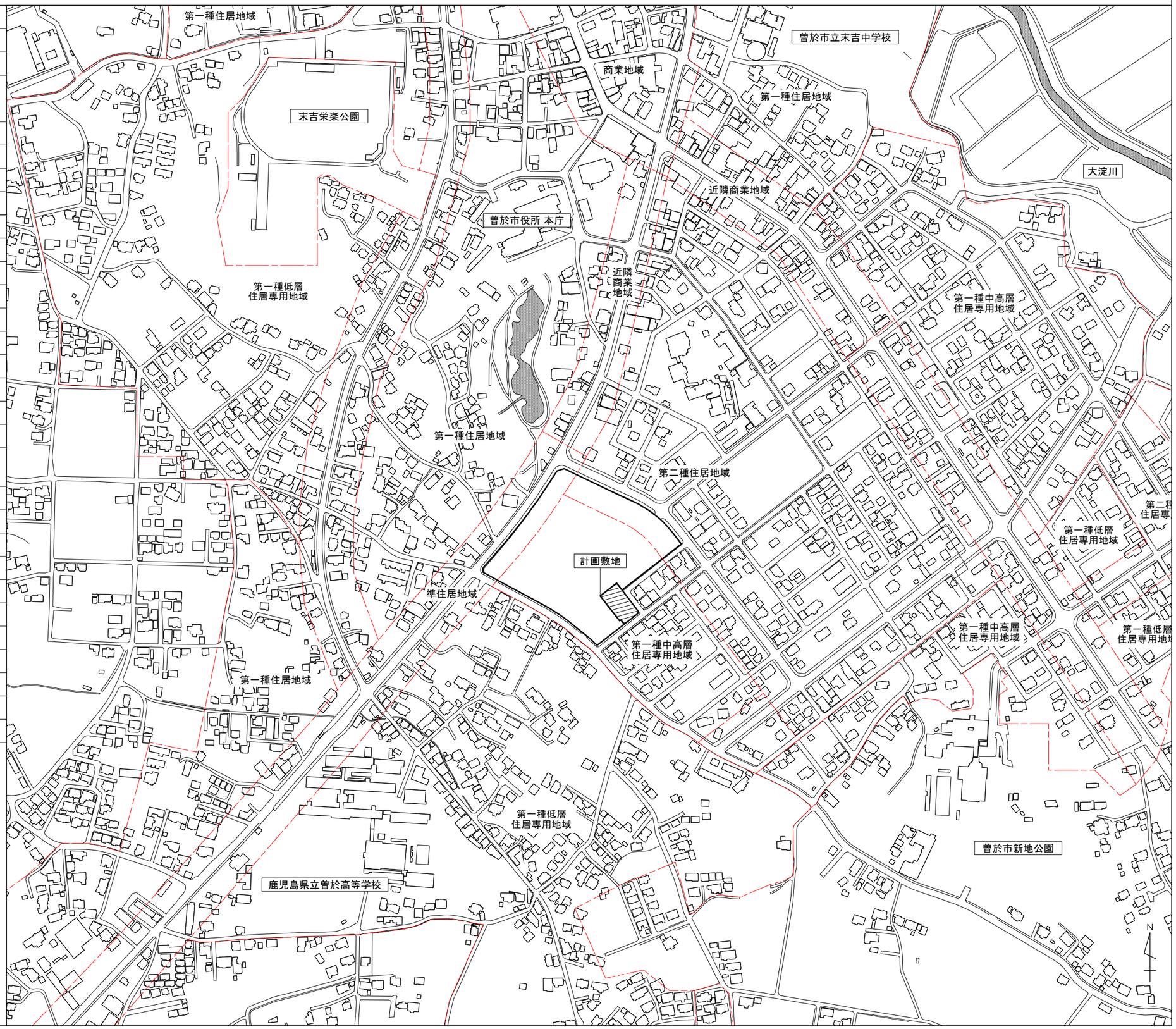
向井 一得
一級建築士登録第328591号
設備設計一級建築士登録
第4451号

Project Title	教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client	曽於市
Name of Drawing	工事区分表-1
Scale	A1: N.S. A3: N.S.
Architect	
Drawn by	
Checked by	
Date	2026.09.30
	E-106

計画概要・案内図

S:1/5000(A3)

工事名	教8-18末吉小放課後児童クラブ施設改築本体工事
建主	曽於市
建築場所	鹿児島県曽於市末吉町上町7丁目1-1
地名番地	鹿児島県曽於市末吉町上町7丁目 1-3、1-4、1-5の一部、1-8の一部、1-9の一部
主用途	児童福祉施設:法別表(い)欄(2)項
工事種別	新築工事
工期	建設工事:2026年12月～2027年6月
敷地概要	
都市計画区域	都市計画区域内
用途地域	第一種中高層住居専用地域
指定建蔽率・容積率	60%・150%
道路斜線	1.25　適用距離20m
隣地斜線	1.25　20mより
北側斜線	1.25　10mより
日影規制	高さが10m超える場合
緑化規制	-
防火地域	-
敷地面積	1,251.92㎡
道路幅員	北東側:6.33m　(法第 42 条第 1 項第 1 号 道路) 南東側:6.79m　(法第 42 条第 1 項第 1 号 道路)
建築概要	
構造種別	木造
階数	地上1階
耐火種別	その他建築物
建物の最高高さ	4,300mm　GLより
最高軒高さ	3,120mm　GLより
建築面積	322.35㎡
延べ面積	292.32㎡
容積対象面積	-
建蔽率/容積率	建蔽率:25.75%　/　容積率:23.35%
平均地盤面	KBM+0.210



MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉薗忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4098号
向井　一得 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

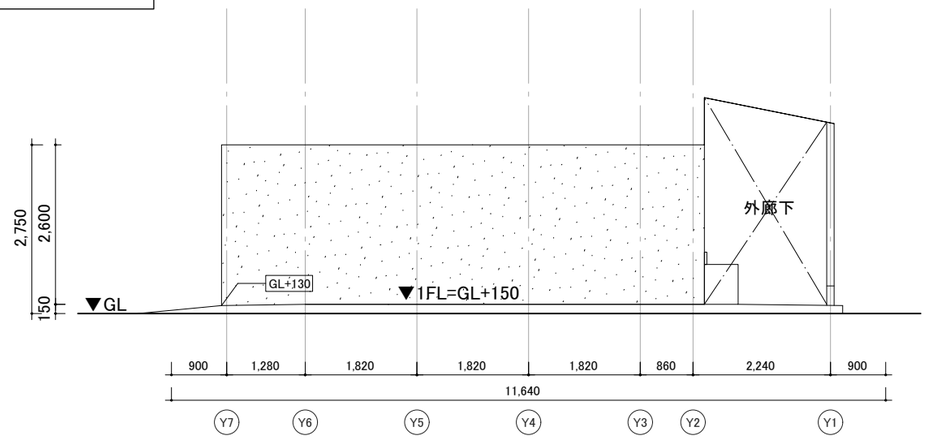
Project Title	教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client	曽於市
Name of Drawing	計画概要・案内図
Scale	A1:1/2500 A3:1/5000
Architect	Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO
Date	_ _ 2026.9.30

E-107

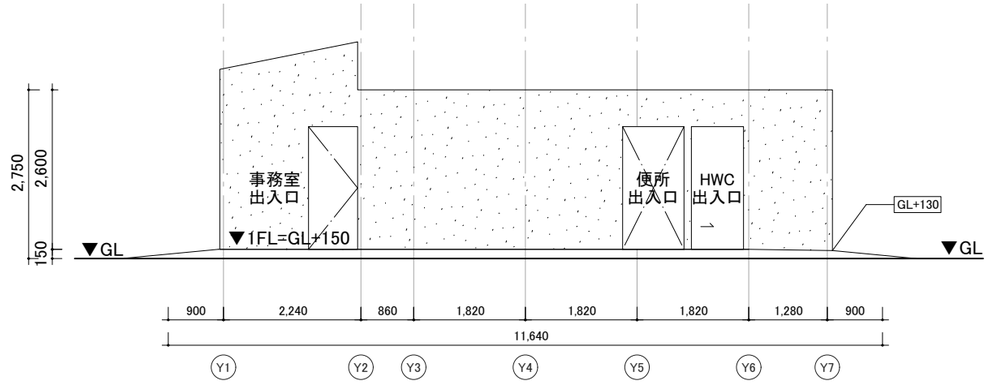
立面図・断面図

S:1/100(A3)

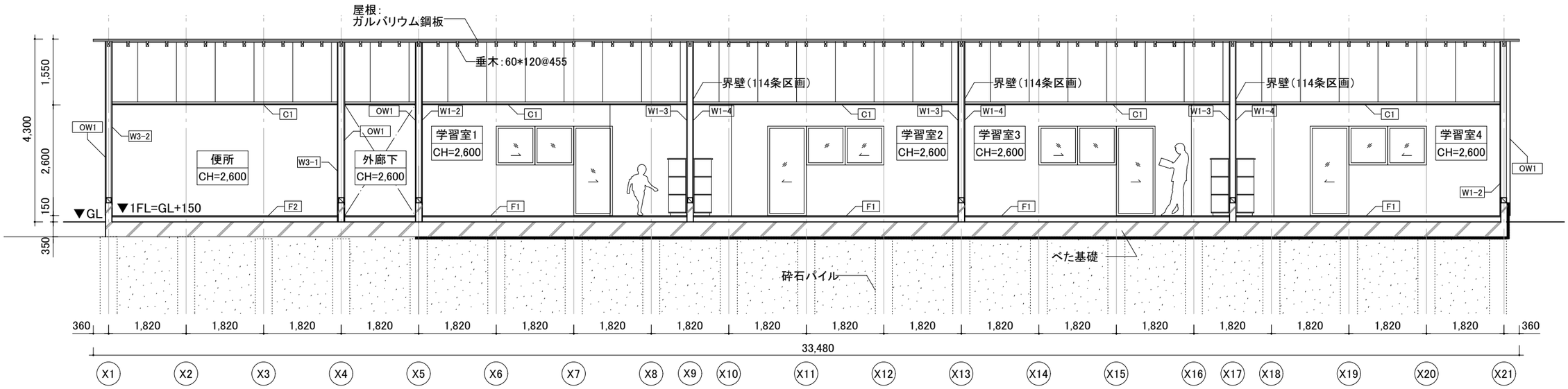
外廊下立面図1 （a立面）

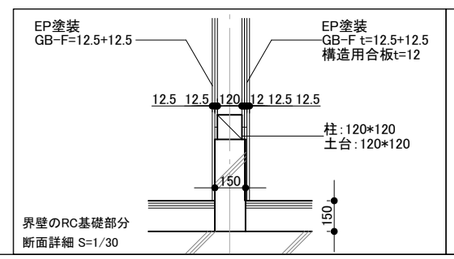


外廊下立面図2(b立面)

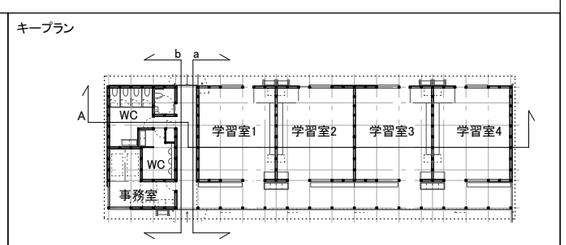


長手断面図(A断面)





キープラン



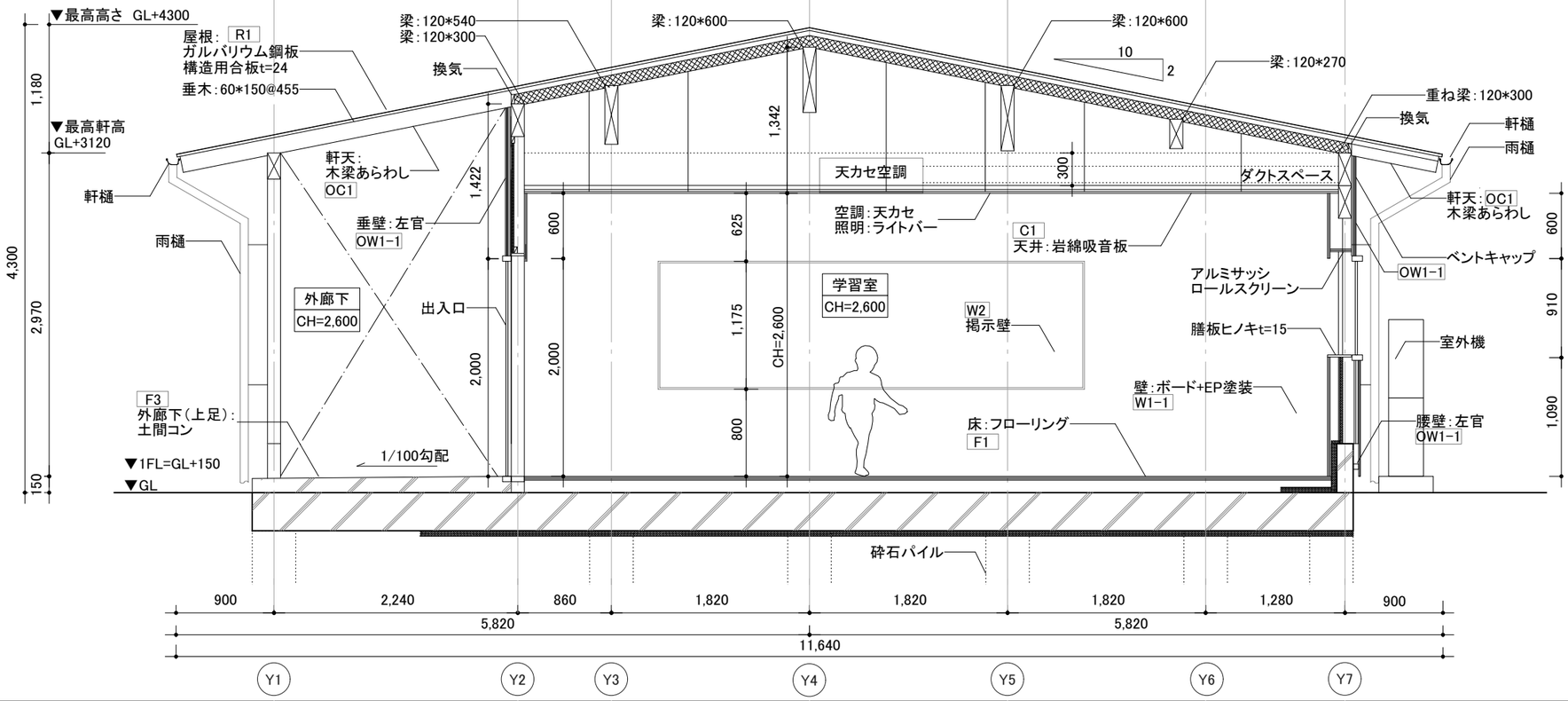
MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client	曽於市
Name of Drawing	断面図
Scale	A1:1/50 A3:1/100
Architect	NAMIKO NISHI
Drawn by	
Checked by	YOHEI TAKANO
Date	2026.9.30

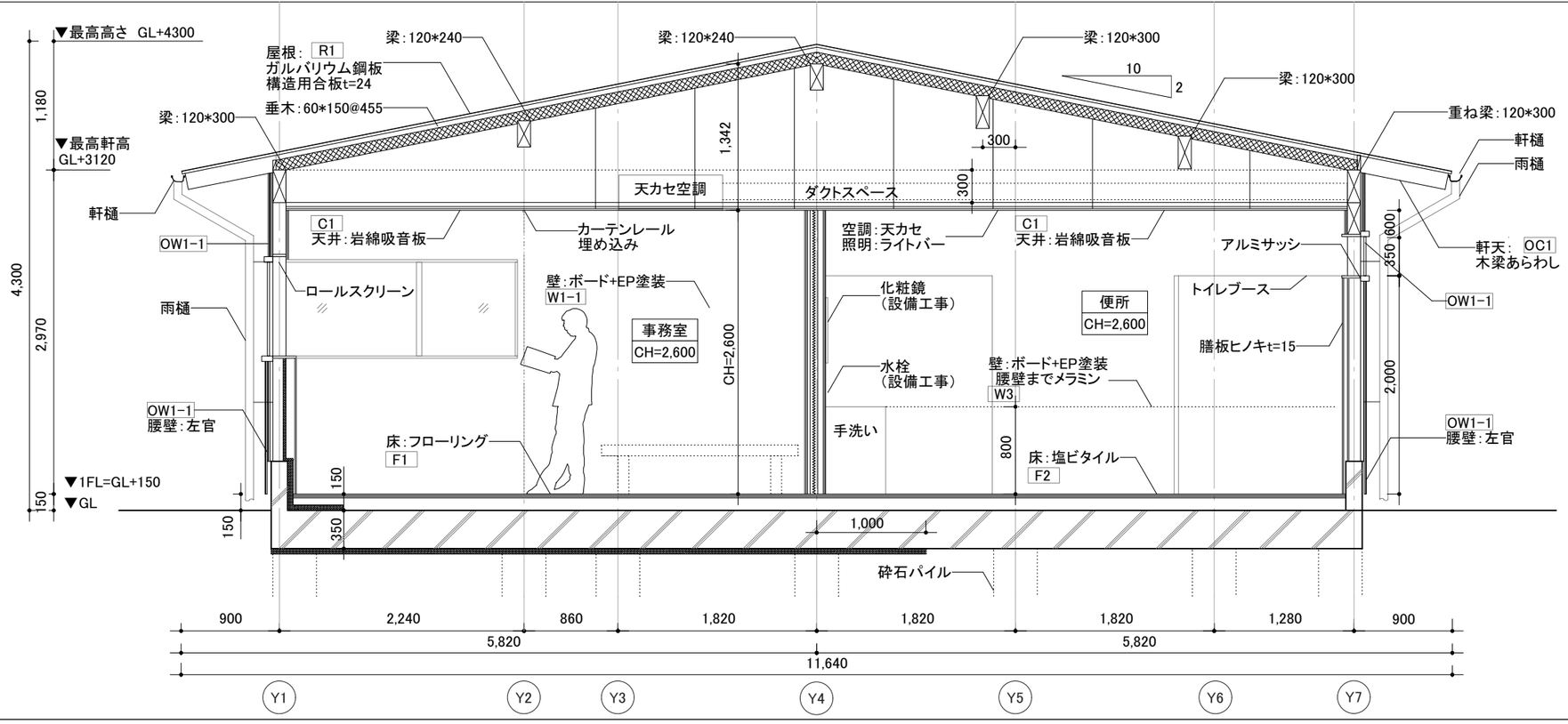
断面詳細図

S:1/50(A3)

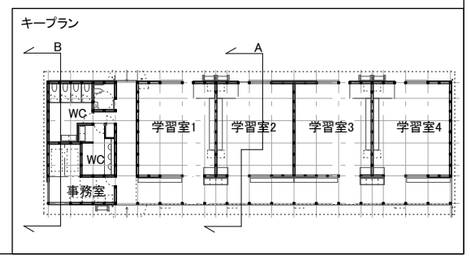
学習室1



事務室～便所



キープラン



MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士 国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士 国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	断面図 -2	A1:1/25 A3:1/50	Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	E-109

構内配電線路図･通信線路図･照明外構図

S:1/200(A3)

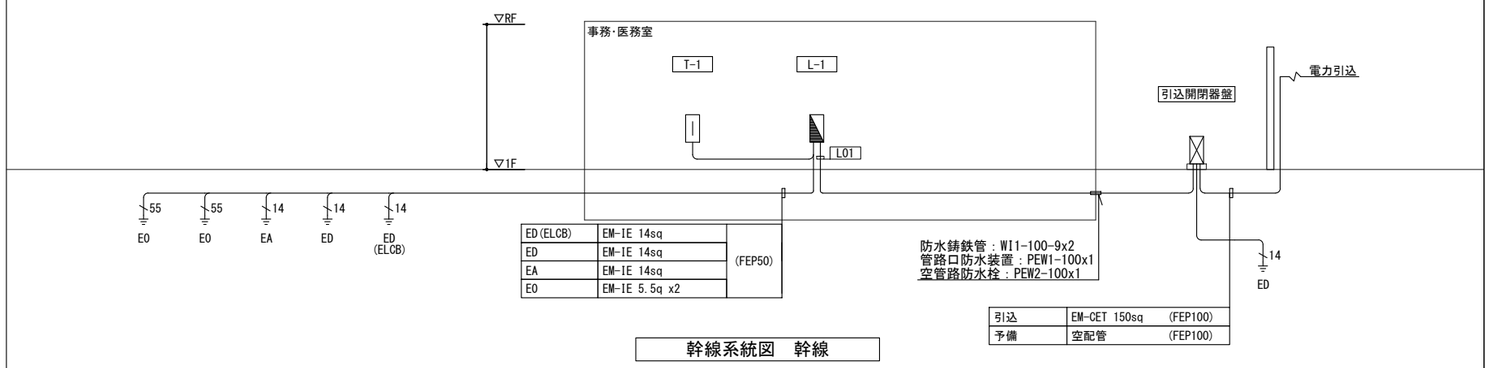
凡 例 表		
記 号	名 称	備 考
■共通		
⊠	引込開閉器盤	
◐	引込柱	
⊡	ハンドホール	
◪	地中埋設票	
⏚	接地極	

特 記 事 項
1.特記なき配管配線は下記による。
―･･―･･― 地中埋設配管配線
---------- 露出配管配線
―/CE35― EM-CE 3.5sq-3C (FEP30)
―/55― EM-IE 5.5sq (VE16)
―/14― EM-IE 14sq (VE16)
―/22― EM-IE 22sq (VE16)
2.地中埋設管路には、埋設表示シート(2枚重ね)を敷設すること。
3.地中埋設管路には、埋設標識を敷設すること。
4.ハンドホールの仕様は下記による。
⊠H1 H1-9(R2K-60)
⊠H2 H2-9(R2K-60)ｾﾊﾞﾚｰﾀ付

外構	
0P1	1

幹 線 ケ ー ブ ル リ ス ト						
所属配電盤	幹線系統	幹線番号	負荷名称	負荷容量 (kVA)	配線用遮断器 MCCB AF/AT	ケーブルサイズ
引込開閉器盤						
電灯引込		L01	L-1	42.40 kVA	MCCB 3P 225/225	EM-CET 150sq (FEP100)

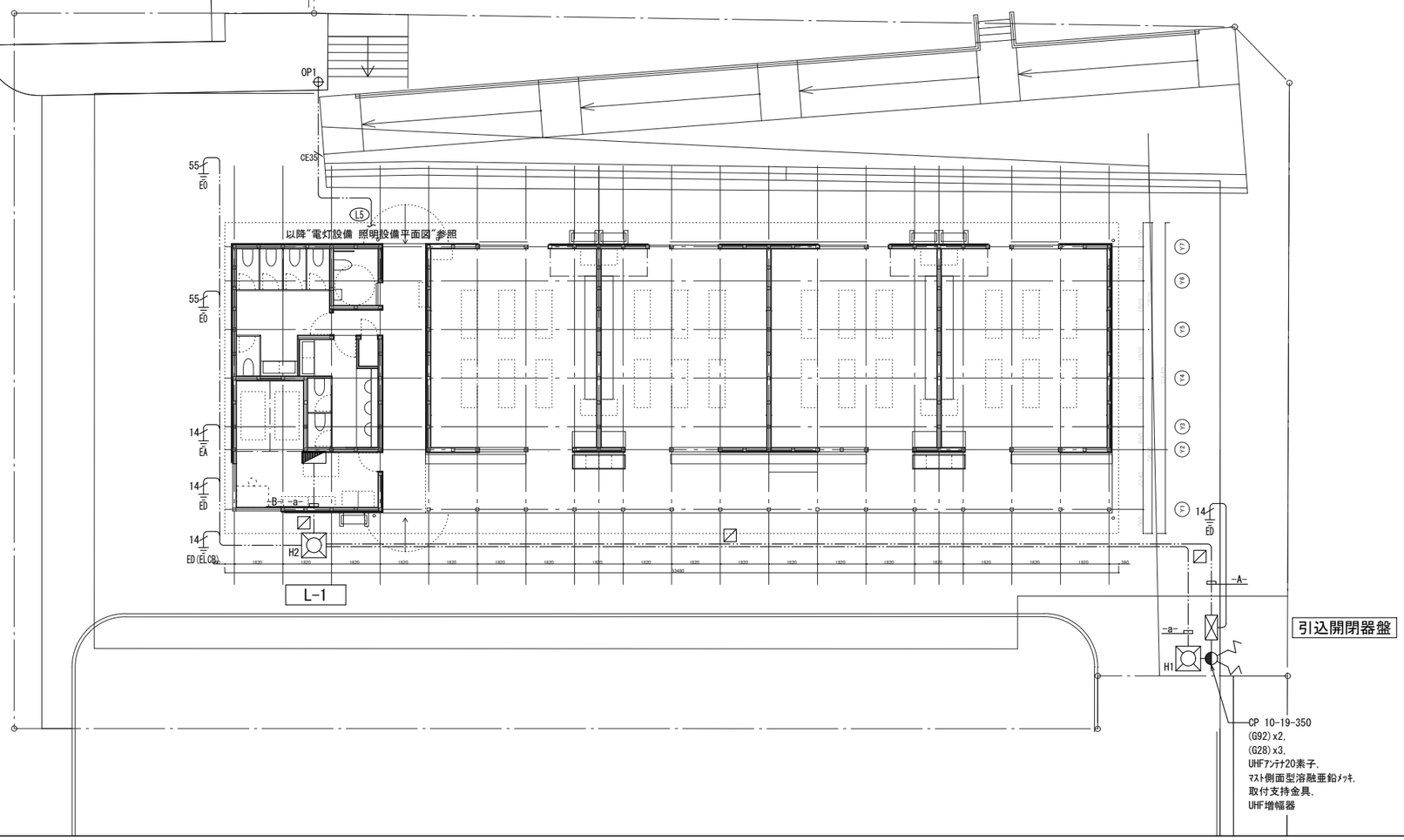
凡 例 表		
記 号	名 称	備 考
◪	電灯分電盤	
⊠	引込開閉器盤	
▭	弱電端子盤	



ED(ELCB)	EM-IE 14sq	(FEP50)
ED	EM-IE 14sq	
EA	EM-IE 14sq	
EO	EM-IE 5.5q x2	

引込	EM-CET 150sq	(FEP100)
予備	空配管	(FEP100)

幹線系統図 幹線



-B-

引込	EM-CET 150sq	(FEP100)
接地	ED:14sq,ED(ELCB):14sq EA:14sq EO,EO:5.5sq x2	(FEP50)
予備	空配管	(FEP100)

GL=-600

-A-

引込	EM-CET 150sq	(FEP100)
予備	空配管	(FEP100)

GL=-600

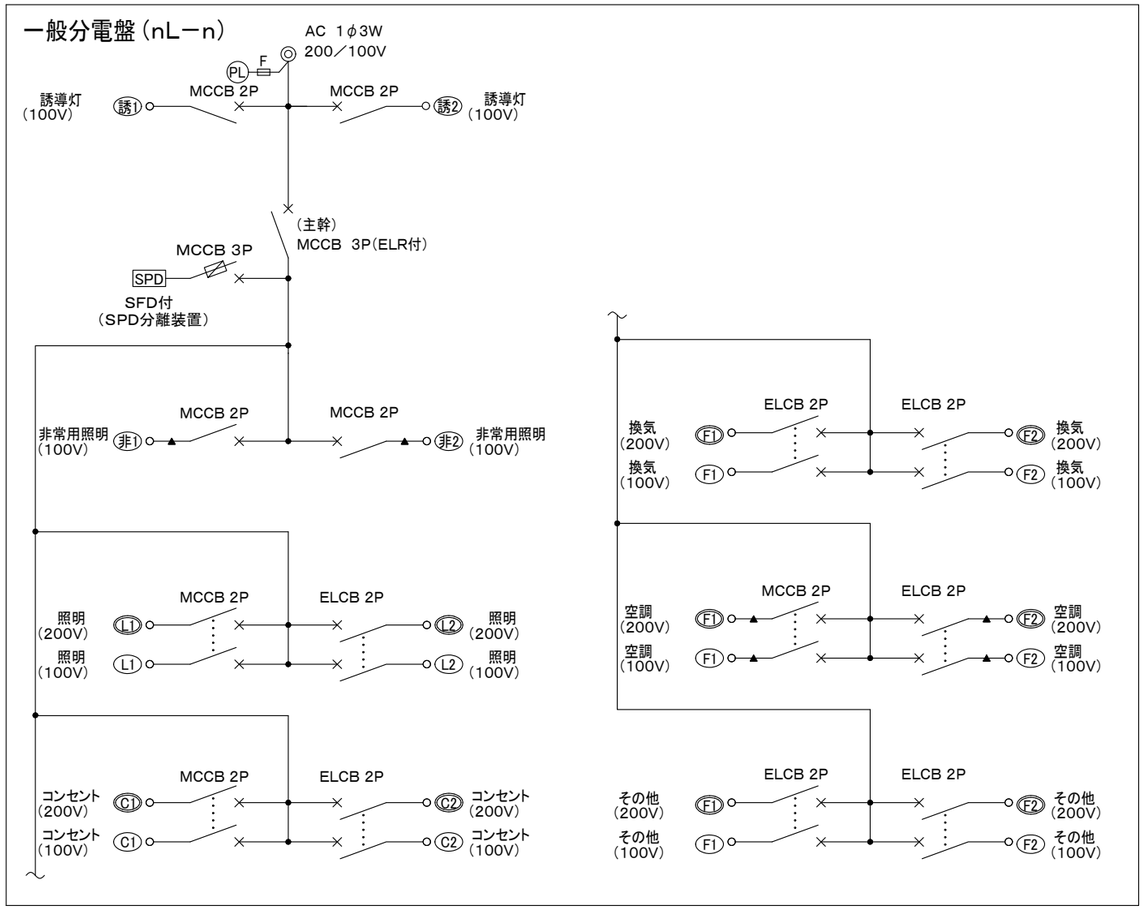
-a-

弱電設備	空配管	(FEP30)
ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備	EM-S-7C-HFL	(FEP30)
予備	空配管	(FEP30)

GL=-600

MARU。architecture
有限会社マル･アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ･アラップ･アンド･パートナーズ･ジャパン･リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client	曽於市
Name of Drawing	構内配電線路図･通信線路図･照明外構図
Scale	A1:1/100 A3:1/200
Architect	
Drawn by	
Checked by	
Date	2026.09.30
	E-201



注 記

公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）に準拠する他、下記を満たすこと。

1）ブレーカートリップ一括表示ランプ・漏電警報表示ランプを盤面に取り付け、
　中央監視制御設備に代表警報移報を行う。
2）電源表示ランプ（LED多素子）を各幹線毎に取付ける、幹線名称表示を行う。
3）配線用遮断器は短格容量を十分に満足するものとする。
4）分電盤は外扉、内扉付とする。
5）内扉はマグネット及び蝶番による開閉とし、1か所はビスで固定する。
6）リモコンリレーはブレーカ順にならって設置すること。
7）誘導灯回路は、主幹一次側より分岐し、MCCB赤キャップ付、カードホルダを赤字とする。
8）入出力ガーター部にケーブル支持金物を設置すること。
9）電力量計はパルス発信機能付きとし自動制御設備（別途機械設備工事）に出力するものとする。
　また用途名板を設置すること。パルス出力単位は特記無き限り0.1kWh/pulseとする。
10）非常照明用COSは回転式とし、内扉に設置する。
11）特記なき分岐開閉器は配線用遮断器（MCCB）とする。
12）特記なき漏電遮断器（ELCB）の定格感度電流は30mA、0．1秒とする。
13）特記なき分岐開閉器はJIS協約型とする。
14）特記なきリモコンリレーはフル2線式とする。
15）非常照明回路部は不燃材料にて区画する。
16）凡例は下記とする。

MCCB	配線用遮断器	AS	自動点滅器
ELCB	漏電遮断器	Tim	タイマーユニット
Wh	電力量計（WHM）	Mg	マグネットスイッチ
R	リモコンリレー	ELR	漏電警報器
Tr	リモコントランス	▲	リモコンリレー 2P又は1P（フル2線）
T／U	リモコンリレー制御用端末器（4回路用）		

17）屋内設置盤は指定色仕上げ、屋外設置盤は屋根・架台（H：500）付、SUS指定色仕上げとする。
18）分電盤を機器の保守しやすい場所に自立型（転倒防止措置を行う）を主体として露出にて設置する。
　居室内設置の分電盤上部は天井まで配線ダクト・配管配線とする。OAフロア設置の盤は、OAフロア高さと同等の
　高さのベースを設けること。
19）二次側電源線及び接地線は端子台渡しとすること。
20）EPS、機械室等内部設置の自立型分電盤の箱体は上部に配線立ち上げ用ケーブルラックを設置すること。
　（壁面に配線を支持しないこと。）
21）各盤には接地端子を分岐回路と同数設けること。（予備スペース分含む）
22）ELCBの接地端子は箱体とは絶縁すること。
23）主幹線MCCB1次側には端子台を設けること。
　また、端子台及びMCCB1次側端子（38mm2以上の電線接続部）の配線接続部は、
　締付けネジの増し締め確認を行った上、3温度サーモラベル非可逆性（70℃）を貼り付ける。
24）各回路種別ごとに20%以上の予備ブレーカ及び、15%以上の予備スペースを見込むこと。
25）100V回路及び200V回路が無い場合は、スペースを最低4回路設けること。
26）分電盤の1次側、2次側とも、クランプメーターで測定可能な構造とする。
27）各盤には以下の機器を設置（警報を一括にて移報のこと。）
　低圧用SPD クラスⅡ JISC5381−1 適合品。
　（屋外盤、屋外負荷のある盤はクラスⅠとする。）
28）分岐回路の電圧は下記とする。

(L1) :AC1φ100V 電灯
(L1) :AC1φ200V 電灯
(C1) :AC1φ100V コンセント
(C1) :AC1φ200V コンセント
(F1) :AC1φ200V 空調・換気
(F1) :AC1φ100V 空調・換気
(A1) :AC1φ200V その他電源
(A1) :AC1φ100V その他電源

盤 形 式

記号	種 別	形 式	形 式
G	一般型	埋込型	形 式
T		露出型	ドアのある構造
D			ドアのない構造 （ただし電源別置型非常用照明回路部は除く）
1H	一種	埋込型	
1T	耐熱型	露出型	
2H	二種	埋込型	
2T	耐熱型	露出型	

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士 国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗基忠夫 一級建築士 国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一得 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第44511号

Project Title	教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client	曽於市
Name of Drawing	電灯分電盤 標準結線図
Scale	A1: N.S. A3: N.S.
Architect	
Drawn by	
Checked by	
Date	2026.09.30
	E-301

電 灯 分 電 盤 結 線 図

盤名称 L-1

キャビネット形式 電源種別: T形

単線接続図 主幹器具: AC 1Φ3W 200/100V (L01)

42.40 kVA

MCCB 3P 225AF/225AT

回路番号	分岐遮断器 種別	P	AT	電力量計	負荷 名称	容量(VA)	制御 記号	Ry	備考
					SPD CLASS-Ⅱ + SFD				
L1	M	2	20		事務室,便所,HWC	200			
L2	M	2	20		学習室1,2	600			
L3	M	2	20		学習室3,4	600			
L4	E	2	20		外部通路	100	AS Tim		
L5	E	2	20		外構　南北	100	AS Tim		
	E	2	20		予備	500			
	E	2	20		予備	500			
	E	2	20		予備	500			
F1	E	2	30		外構　北	1700			室外機
F2	E	2	30		外構　北	1700			室外機
F3	E	2	30		外構　北	1700			室外機
F4	E	2	30		外構　北	1700			室外機
F5	E	2	30		外構　北	1700			室外機
F6	E	2	30		外構　北	1700			室外機
F7	E	2	30		外構　北	1700			室外機
F8	E	2	30		外構　北	1700			室外機
F9	E	2	20		外構　北	800			室外機
	E	2	20		予備	500			
F1	E	2	20		医務室,便所	300			排気ﾌｧﾝ
F2	E	2	20		学習室1,2,3,4	300			排気ﾌｧﾝ
	E	2	20		予備	500			
	E	2	20		予備	500			
C1	M	2	20		事務・医務室	400			
C2	E	2	20		事務・医務室	200			冷凍庫
C3	E	2	20		事務・医務室	200			冷蔵庫
C4	E	2	20		事務・医務室	500			洗濯機
C5	M	2	20		学習室1	400			
C6	M	2	20		学習室1	200			
C7	E	2	20		学習室1	200			冷凍庫
C8	E	2	20		学習室1	200			冷蔵庫
C9	E	2	20		学習室1	1300			電子ﾚﾝｼﾞ
C10	E	2	20		学習室1	700			電気温水器
C11	M	2	20		学習室2	400			
C12	M	2	20		学習室2	200			
C13	E	2	20		学習室2	200			冷蔵庫
C14	E	2	20		学習室2	1300			電子ﾚﾝｼﾞ
C15	E	2	20		学習室2	700			電気温水器
C16	M	2	20		学習室3	400			
C17	M	2	20		学習室3	200			
C18	E	2	20		学習室3	200			冷蔵庫
C19	E	2	20		学習室3	1300			電子ﾚﾝｼﾞ
C20	E	2	20		学習室3	700			電気温水器
C21	M	2	20		学習室4	400			
C22	M	2	20		学習室4	200			
C23	E	2	20		学習室4	200			冷蔵庫
C24	E	2	20		学習室4	1300			電子ﾚﾝｼﾞ
C25	E	2	20		学習室4	700			電気温水器

次葉へ

盤名称 キャビネット形式 電源種別

単線接続図 主幹器具: 前葉へ

回路番号	分岐遮断器 種別	P	AT	電力量計	負荷 名称	容量(VA)	制御 記号	Ry	備考
C26	E	2	20		HWC	1300			温水便座
C27	E	2	20		男子便所	800			温水便座(将来用)
C28	E	2	20		男子便所	800			温水便座(将来用)
C29	E	2	20		女子便所	800			温水便座(将来用)
C30	E	2	20		女子便所	800			温水便座(将来用)
C31	E	2	20		女子便所	800			温水便座(将来用)
C32	E	2	20		女子便所	800			温水便座(将来用)
C33	E	2	20		女子便所	800			温水便座(将来用)
C34	M	2	20		外部通路	200			非常警報装置,ﾄｲﾚﾁｬｲﾑ
C35	M	2	20		事務・医務室	500			端子盤
	M	2	20		予備	500			
	M	2	20		予備	500			
	E	2	20		予備	500			
	E	2	20		予備	500			
	E	2	20		予備	500			

盤名称 引込開閉器盤

キャビネット形式 電源種別: SUS自立形指定色塗装 屋外防水屋根付 検針窓付

単線接続図 主幹器具: AC 1Φ3W 200/100V 60Hz

WH

MCCB 3P 225AF/225AT

回路番号	分岐遮断器 種別	P	AT	電力量計	負荷 名称	容量(VA)	制御 記号	Ry	備考
					低圧変流器付計量器スペース				
					SPD CLASS-Ⅰ + SFD				
					L-1 (L01)				

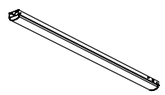
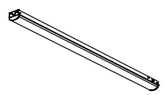
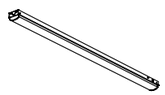
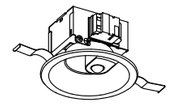
盤名称 キャビネット形式 電源種別

単線接続図 主幹器具

回路番号	分岐遮断器 種別	P	AT	電力量計	負荷 名称	容量(VA)	制御 記号	Ry	備考

MARU。architecture　有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号　高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI　株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号　松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP　オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号　富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号　菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号　向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: 電灯分電盤 負荷表(1)
Scale: A1: N.S. A3: N.S.
Architect / Drawn by / Checked by
Date: 2026.09.30
E-302

BL1	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ 参考:LZB-92584XW 参考:LZA-92820AE LEDﾕﾆｯﾄ16.7W 3500K 45°	BL2	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ 参考:LZB-92584XW 参考:LZA-92824AE LEDﾕﾆｯﾄ43.7W 3500K 45°	BL3	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ 参考:LZB-92584XW 参考:LZA-92819AE LEDﾕﾆｯﾄ13.4W 3500K 45°	DL2	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 参考:DDL-6132YW LED4.6W 2700K 60° Ra93 備考：	DL3	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 人感ｾﾝｻｰ付 参考:DDL-6274YW LED5.2W 2700K 60° Ra83 備考：	WBK1	LED屋外ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ 参考:DWP-40255Y LED9.2W 2700K Ra83 備考：
非調光		非調光		非調光		非調光 埋込必要寸法:φ100 H=70mm		非調光 埋込必要寸法:φ100 H=80mm		非調光	
OP1	LEDﾎﾟｰﾙ(灯具) 参考:LLP-7019LUE 埋込固定用ﾎﾟｰﾙ(H=430mm) 参考:LLA-7010U LED8W 2700K Ra83										
非調光 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎共											
中輝度蓄光式誘導標識 避難口 消防認定品											
											

姿図、仕様、器具型番は参考とし、
同等以上の製品にて代替可能とする。
照明器具は全て指定色塗装とする。

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
吾 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第44451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect / Drawn by / Checked by	Date	
教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事	曽於市	電灯設備 照明器具姿図	A1: N.S. A3: N.S.		2026.09.30	E-401

女子便所	
DL2	8

HWC	
DL2	2

男子便所	
DL2	8

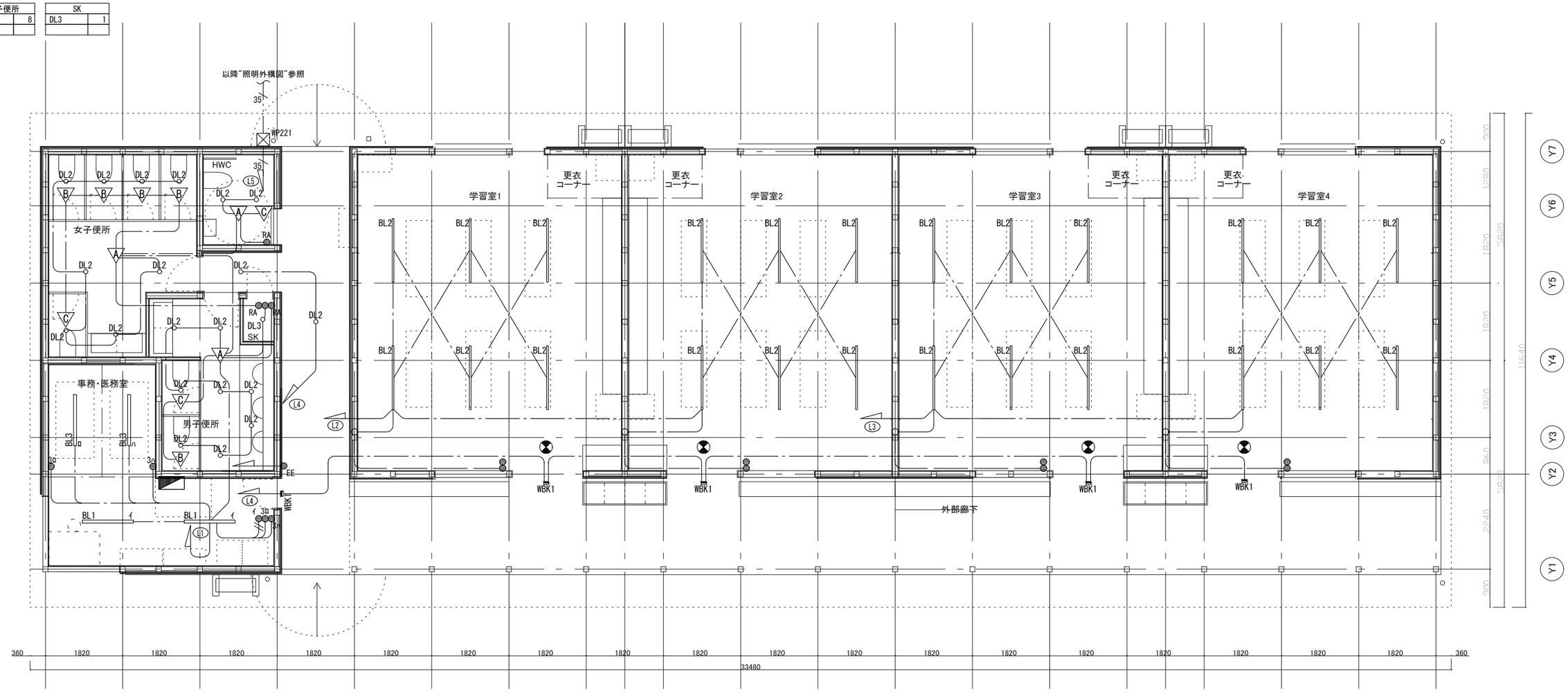
SK	
DL3	1

学習室1	
BL2	6

学習室2	
BL2	6

学習室3	
BL2	6

学習室4	
BL2	6



L-1

事務・医務室	
BL1	2
BL3	2

外部廊下	
DL2	2
WBK1	5

凡 例 表		
記 号	名 称	備 考
■共通		
◢	電灯分電盤	
☒	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	傍記WPはSUS防水型
■電灯設備		
═ ○ △	LED照明器具	詳細は姿図参照
●	ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ 1P15Ax1	
● RA	熱線ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	
● EE	自動点滅器	
⊛	蓄光式避難口誘導標識(消防認定品)	
▽	熱線ｾﾝｻ付自動ｽｲｯﾁ（親機）	
▽	熱線ｾﾝｻ付自動ｽｲｯﾁ（子機）	
▽	熱線ｾﾝｻ付自動ｽｲｯﾁ子機(2速換気扇連動)	

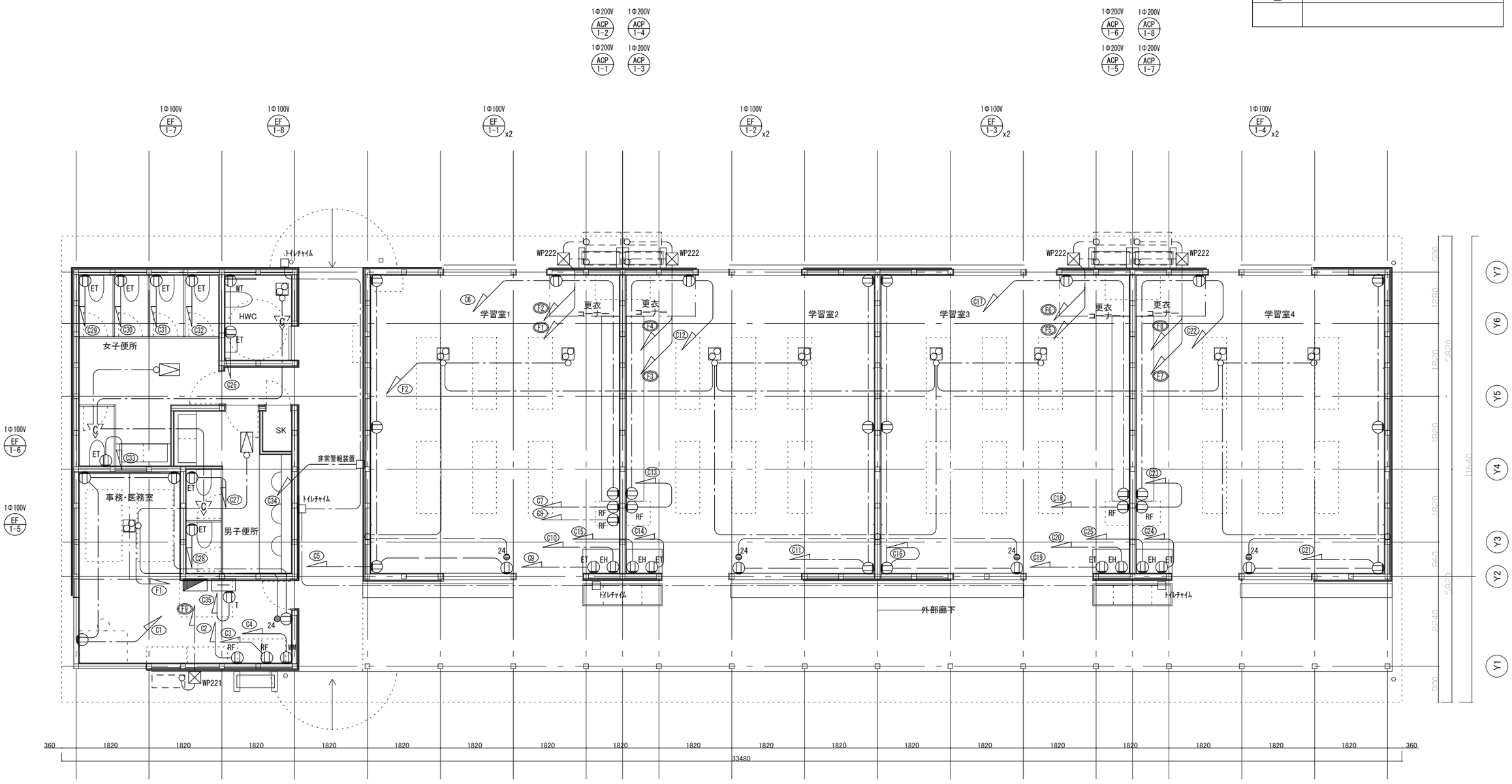
配 線 図 示 表		
記 号	配 線	保護管
—·—·—	天井内ころがし配線	
— — —	床隠ぺい配管配線	
- - - - - -	露出配管配線	
—·—·—	地中埋設配管配線	
—//—	EM-EEF 2.0-2C	(PF22)
———	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)(G22)
—35—	EM-CE 3.5sq-3C	(PF28)

特 記 事 項
1.ｹｰﾌﾞﾙ配線における壁面立上げ・引下げ部分は、電線管（PF管）にて保護するものとする。
2.防火区画貫通部は、国土交通大臣認定工法にて貫通処理を施すものとする。
3.地中から建物への導入部には、ツバ付き防水鋳鉄管同等以上の止水対策を施すこと。
4.電源別置器具の専用電源は、各器具ごとに見込むものとする。
5.ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ寸法は下記とする。
☒ abc　鋼板製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ (a x100) x (b x100) x (c x100)
※傍記WPは、ｽﾃﾝﾚｽ製・防水型とする。

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録 第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録 第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
宮岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録 第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録 第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録 第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect / Drawn by / Checked by	Date	
教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事	曽於市	電灯設備 照明設備 1階平面図	A1:1/50 A3:1/100		2026.09.30	E-402

機械設備負荷記号凡例	
凡例	電気種別区分
ABC / XXX	1Φ200V機器、1Φ100V機器



凡例表		
記号	名称	備考
■共通		
	電灯分電盤	
	端子盤	
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	傍記WPはSUS防水型
■ｺﾝｾﾝﾄ設備		
⊕	壁付ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 E付	
⊕ ET	壁付ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 E+ET付	

ｼﾝﾎﾞﾙに傍記の各種記号の用途は下記による。		
⊕ EH	壁付ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A x2 E付+ET付	電気温水器用
⊕ RF	壁付ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A x2 E付+ET付	冷蔵庫・冷凍庫用
⊕ T	露出ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A x2 E付	端子盤用
⊕ WM	壁付ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A x2 E付+ET付	洗濯機用
⊕ WT	壁付ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A x2 E付+ET付	温水洗浄便座用
⊕ WP	壁付ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A x2 E付防滴ﾌﾟﾚｰﾄ鍵付き	指定色
	熱線ｾﾝｻ付自動ｽｲｯﾁ子機(2速換気扇連動)	電灯設備工事

凡例表		
記号	名称	備考
■単相空調設備		
	送風機	別途工事
● 24	換気扇ｽｲｯﾁ	機械設備支給品

配線図示表		
記号	配線	保護管
—·—·—	天井内ころがし配線	
— — —	床隠ぺい配管配線	
- - - - - -	露出配管配線	
—·—·—	地中埋設配管配線	
——//	EM-EEF 2.0-2C	(PF22)
———	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)
——/ 55	EM-CE 5.5sq-3C	(PF28)

特記事項
1.ｹｰﾌﾞﾙ配線における壁面立上げ・引下げ部分は、電線管（PF管）にて保護するものとする。
2.防火区画貫通部は、国土交通大臣認定工法にて貫通処理を施すものとする。
3.各ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄには、盤名称および回路番号を明記すること。
4.各ｺﾝｾﾝﾄ・ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄは、指定色とすること。
5.ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ寸法は下記とする。
⊠ abc 鋼板製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ (a x100) x (b x100) x (c x100)
※傍記WPは、ｽﾃﾝﾚｽ製・防水型とする。

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士 国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士 国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
晋 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: 電灯設備 ｺﾝｾﾝﾄ設備・単相空調設備 1階平面図
Scale: A1:1/50 A3:1/100
Architect
Drawn by
Checked by
Date: 2026.09.30
E-403

構内交換･構内情報通信網設備　仕様

情報（電話・ＬＡＮ）設備ネットワーク工事特記仕様書

1.工事概要

・本工事は末吉中央児童クラブ 構内情報通信網の工事とする。
・本仕様に記載なき詳細については、監督員の指示をうけるものとする。

2.LAN設備ネットワーク構成

（1）LAN設備ネットワーク機器

1）ルータ

・ビジネス（法人）モデルの機器を選定すること。
・WANインターフェース：1000Mbps以上のイーサネットポートを実装。
・LANインターフェース：1000Mbps以上のイーサネットポートを実装。
・VLAN対応、ＩＰｓｅｃ等のトンネル機能を有すること。
・ファイアーウォール機能を有すること。

2）給電スイッチ

・ビジネス（法人）モデルの機器を選定すること。
・LANインターフェース：1000Mbps以上のイーサネットポートを実装。
・ＩＥＥＥ802.1Qのタグ VLAN機能を有すること。
・ＰｏＥ給電機能（ＩＥＥＥ802.3ａｔ）を有すること。
・アクセスポイント3台以上の給電が可能なこと。

4）アクセスポイント

・ビジネス（法人）モデルの機器を選定すること。
・LANインターフェース：1000Mbps以上のイーサネットポートを実装。
・ＩＥＥＥ802.11ａ/ｂ/ｇ/ｎ/ａｃ/ａｘに準拠し、2.4GHz、5GHz、6GHzを利用可能なこと。
・認証方式：WPA2又はWPA3、暗号化方式：AESに対応すること。
・マルチＳＳＩＤ機能を有すること。
・ＰｏＥ受電機能（ＩＥＥＥ802.3ａｔ）を有すること。
・電波干渉による障害発生防止の為、電波調査を実施すること。

（2）電話設備機器

・ひかり電話１ｃｈ１番号 を利用とする。
・電話機は既存機器を流用するものとする。
・事務室に親機1台（既存機器）を設置し、学習室1には子機（コードレス）1台を設置とする。
・ビジネス（法人）モデルの機器を選定すること。

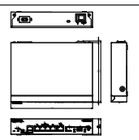
（3）機器の設置方法、設定、動作試験

・ＬＡＮ設備ネットワーク機器は、盤内に設置とする。
・学習室に設置のアクセスポイントは天井面または壁面に露出設置とする。
・ネットワーク機器の設置完了後、動作試験を行い、端末の動作試験を確実に行うこと。
・ネットワーク機器の設定は、発注者と協議により適切に行うこと。

2.姿図及び台数

R　拠点ルータ（ギガアクセスＶＰＮルータ）（別途）　1台

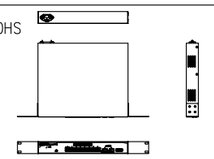
参考型名
RTX840



ＬＡＮ･ＷＡＮポート数	LAN：10/100/1000BASE-TX4、WAN：10/100/1000BASE-TX1 コンソール（RJ-45X1、USB Mini-B（5pin）X1）
メモリー／microSD	FLash ROM 64MB .RAM 1GB/SDHCN6X1
IPv4／IPv6ルーティング	RIP.RIP2.OSPF.BGP4（EBGP.IBGP）/RIPng.OSPFv3
VPN／ファイアウォール機能	IPsec.PPTP.L2TP／IPsec.L2TPv3／IPV4･V6静的 動的フィルタリング
セキュリティ機能（フィルター）	URL.DHCP機能認証.Winny（ﾊｰﾌﾞｫﾝ2）.Share（ﾊｰﾌﾞｫﾝ1.0 EX2）.MACアドレス
認証機能／動的ﾌｨﾙﾀﾘﾝｸﾞ	RADIUS.PAP.CHAP.MS-CHAP／150,000
消費電力／発熱量／環境／寸法／質量	最大12W／最大43.2KJ/h/0~50℃15~80%／W220XD160XH43.5/1.1Kg
参考型番	RTX840同等品

8PoE　給電スイッチ（８ポート）（別途）　1台

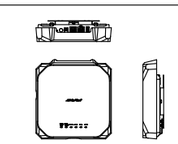
参考型名
AT-mGS950／10HS



ポート数	100/1000/2.5GBASE-T：8（PoE-OUT）SFPスロット：2（ｵｰﾄﾈｺﾞｼｴｰｼｮﾝ.10/100M Full./Half時.1000M Full時Z、MDI/MDI-X自動認識.MDI/MDI-X固定）
メモリ容量／MACアドレス	256MByteﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘ.1GByteﾒｲﾝﾒﾓﾘ／16K（K=1024）
ｽｲｯﾁﾝｸﾞ方式／管理／VLAN	ストア＆フォワード／SNMPv1／v2c／v3.SNMP MIB.RMON／4094個
最大供給電力.給電方式	60W／ポート、124W／装置全体、オルタナティブA，B
入力電流／消費電力／発熱量	最大2A／平均90W･最大180W／最大6.30kj/h
動作時環境条件／寸法／質量	温度0~50℃.湿度5~90%／W330XD270XH44/2.7kg

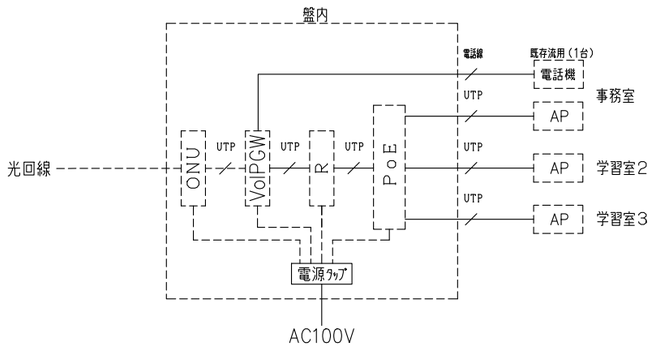
AP　無線LANアクセスポイント（別途）　3台

参考型名
AT-TQm3403



有線インターフェース	100/1000BASE/2.5GBASE-T（PoE-IN.RJ45）X2
周波数帯域／アンテナ	2.4G･5GHz帯.6GHz帯／2.4G･5GHz帯：2本.6GHz帯：2本
無線規格／ストリームMIMO数	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax/k/r/v ／2ストリーム
暗号化	WEP（64/128ビット）.WPA/WPA2（CCMP（AES）.TKIP.CCMP（AES））WPA3（パーソナル：CCMP（AES）.エンタープライズ：GCMP（AES/CNSA）
電源部／入力電流／消費電力	PoE：IEEE 802.3at.ACアダプ：AC100~240V ／最大0.50A ／最大20W
発熱量／寸法／質量／環境条件	最大73Kj/h ／W200XD210XH47/1.1Kg/0~45℃.5~90%

3.システム概要図



－－－：本仕様範囲外

記号	名称	記号	名称
ONU	光回線終端装置	PoE	電力供給イーサネットポート
PoE･SW	給電スイッチ	SFP	拡張モジュール
		SU	スプライスユニット
R	ルータ	UPS	無停電電源装置
AP	アクセスポイント（無線LAN）		

端子盤名称	構内交換 構内情報通信網	ﾃﾚﾋﾞ共同受信（系統図参照）		予備	備 考
T-1	別途盤･ﾗｯｸ	増幅器電源部 増幅器 SH-D6		20P	コンセント 2P15A x1

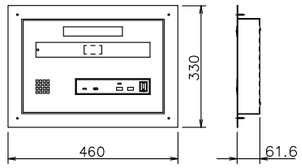
注記）機器の発熱量に応じて換気口等をもうけること。
端子盤は指定色塗装とする。

端子盤一覧表

MARU。architecture　有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号　高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI　株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号　松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP　オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号　富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号　菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号　向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

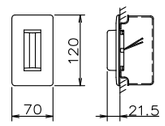
Project Title　教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client　曽於市
Name of Drawing　構内交換･構内情報通信網設備 系統図
Scale　A1: N.S. A3: N.S.
Architect
Drawn by
Checked by
Date　2026.09.30
E-501

1L　1窓用呼出表示器



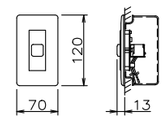
電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)
形　状	露組込型
材　質	SPCC t1.2
窓　数	1窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯
備　考	指定色塗装とする

⊗　廊下灯



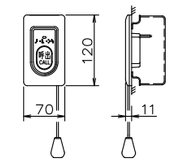
形　状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	本体; ＡＢＳ樹脂、カバー; ポリカ（指定色）
表示灯	赤色（ＬＥＤ）

⊠　復旧ボタン



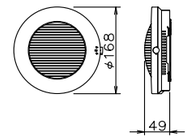
形　状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	樹脂（指定色）

n　呼出ボタン（引きヒモ付）

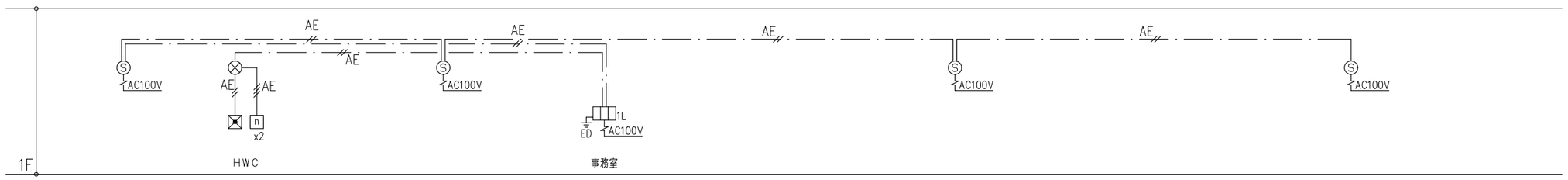


形　状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	自己消火性樹脂
備　考	点字案内文（ヨビダシ）、英文表示（CALL）
	呼出確認表示灯付、ひも式・押ボタン式両用
	防まつ形(JIS C0920 IPX4相当)
	引きひも 110cm(調節可)

Ⓢ　光るチャイム



電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時３．５Ｗ（定格電圧にて）
	鳴動時　１２Ｗ（定格電圧にて）
形　状	適合ボックス　１コ用スイッチボックス
寿　命	４万回鳴動または、点滅動作１００時間
鳴　動	ブー音ノ６点打チャイムノ４点打チャイム
表　示	キセノンランプのフラッシュ光（強弱調整可能）



（注記）特記なき配管配線は下記とする。

— AE — EM−AE0.9−2C ピット・天井内 (PF16)

— AE — EM−AE0.9−3C ピット・天井内 (PF16)

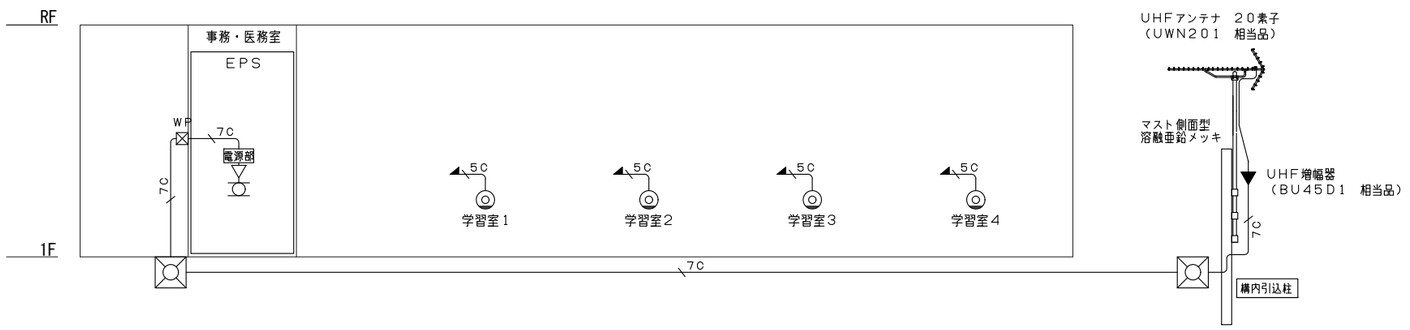
— AE — EM−AE0.9−2C 露出 (E19)

トイレ呼出設備　系統図

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録 第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗潮忠夫 一級建築士国土交通大臣登録 第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録 第10495号
菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録 第4096号
向井　一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録 第4451号

Project Title	教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client	曽於市
Name of Drawing	トイレ呼出設備 系統図
Scale	A1: N.S. A3: N.S.
Architect	
Drawn by	
Checked by	
Date	2026.09.30

E-502



特　記

1）特記なき配管配線は下記の通りとする。

5C ——— EM-S-5C-FB

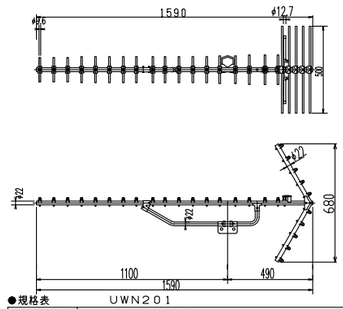
——— EM-S-7C-FB

7C ——— EM-S-7C-HFL

凡　例

記　号	名　　称	備　　考		
▶	増幅器（電源部含む）	UHF	参考型番: BU45D1	相当品
▷	増幅器	UHF	参考型番: UF45M2	相当品
⊥	4分配器	10～3224MHz対応	参考型番: SHD41	相当品
◎	直列ﾕﾆｯﾄ（1端子型）	10～3224MHz対応	参考型番: SH7F1	相当品

UHF20素子アンテナ

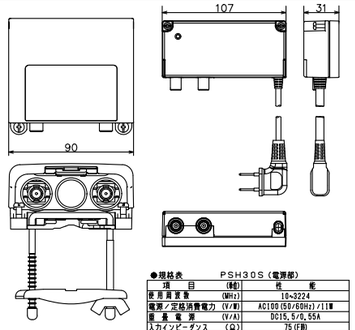


●規格表　UWN201

項　目（単位）	性　　能	
BL 型式	UWN-20	
素　子　数	20	
周　波　数（MHz）	470～578	578～710
使用チャンネル（ch）	13～30	31～52
動作利得（dB）	8.0以上	9.0以上
前　後　比（dB）	15.0以上	
半　値　幅（度）	55以下	50以下
VSWR（以下）	2.5	
インピーダンス（Ω）	75（F形）	
受風面積（㎡）	0.19	
適合マスト径（mm）	φ32～φ62	
質　　量（kg）	2.5	

規格値は、BL優良住宅部品の認定基準を表示しています。

UHFブースタ



●規格表　PSH30S（電源部）

項　　目（単位）	性　　能
使用周波数（MHz）	10～3224
電源／定格消費電力（V/W）	AC100(50/60Hz)/11W
出　力　電　源（V/A）	DC15.5/0.55A
入力インピーダンス（Ω）	75（F形）
出力インピーダンス（Ω）	75（F形）
使用温度範囲（℃）	-20～+40
質　　量（kg）	0.2

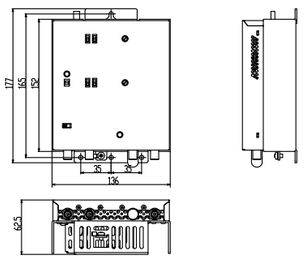
●規格表　BU45D1

項　　目（単位）	性　　能
使　用　帯　域	UHF
使用チャンネル（ch）	13～52
使用周波数（MHz）	470～710
雑　音　指　数（dB）	4.5
利得調整範囲（dB）	0～15Ω（連続可変）
利得切換（dB）（入力レベル調整）	30, 35, 45（ｽﾃｯﾌﾟ可能）
定　格　出　力（dBμV）	105（9波）
V　S　W　R	2.5以下

項　　目（単位）	性　　能
雑　音　指　数	1.5以下（※1）
入出力インピーダンス（Ω）	75（F形）
直流電源接続電圧値	DC15V 0.1A
電源／消費電力（※3）	AC100V(50/60Hz)/2.9W,3.9W(※2) DC15V/0.07A,0.17A(※2)
使用温度範囲（℃）	-20～+55
適合マスト径（mm）	φ22～49
質　　量（kg）	0.22

※1 470～500MHz帯は1.7以下、650～710MHz帯は1.8以下（他も同様）
※2 UHF増幅器時/FM
※3 電源部 PSH30S

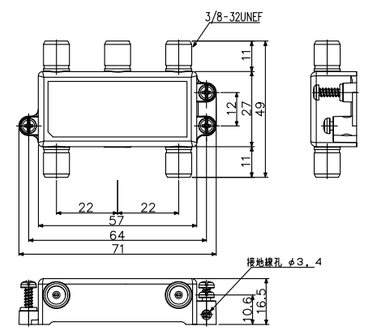
共同受信用 UHF・V-Low・FM 増幅器



●規格表　UF45M2

項　目（単位）	性　　能	
使 用 帯 域	V-Low・FM	UHF
使用チャンネル（ch）	———	13～52
使用周波数（MHz）	76～108	470～710
基準利得（dB）	40	45
入力レベル範囲（dBμV）	44～90	44～100
定格出力レベル（dBμV）	105（FM5重+V-Low）	115（デジタル9波）
出力モニタ（dB）	75（F形）	
入出力インピーダンス（Ω）		
耐　雷　性（KV）	入出力端子・電源端子±20(1.2/50μs)	
使用温度範囲（℃）	-10～+40	
電源／消費電力	AC100V(50/60Hz)/9.5W(22VA) UHF動時 12W(27VA)	
外 形 寸 法（mm）	177(H)x136(W)x62.5(D)	
質　　量（kg）	0.9	

4分配器 10～3224MHz

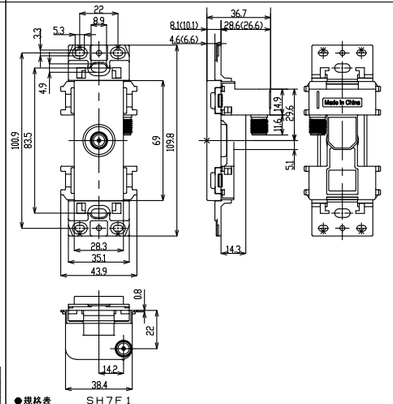


●規格表　SHD41

項　目（単位）	性　　能						
周波数帯域（MHz）	10～76	76～222	222～770	770～1489	1489～2150	2150～2681	2681～3224
分　配　損　失（dB）	8.0以下	7.5以下	8.0以下	9.0以下	10.5以下	11.5以下	13.0以下
端子間結合損失（dB）	13以上	20以上	18以上	15以上	15以上	15以上	15以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下	2.5以下
インピーダンス（Ω）	75（F形C15）						
質　　量（g）	58						

BL優良住宅部品：BL形名　SH-D4
規格値は、BL優良住宅部品の認定基準を表示しています。

壁面テレビ端子　1端子形



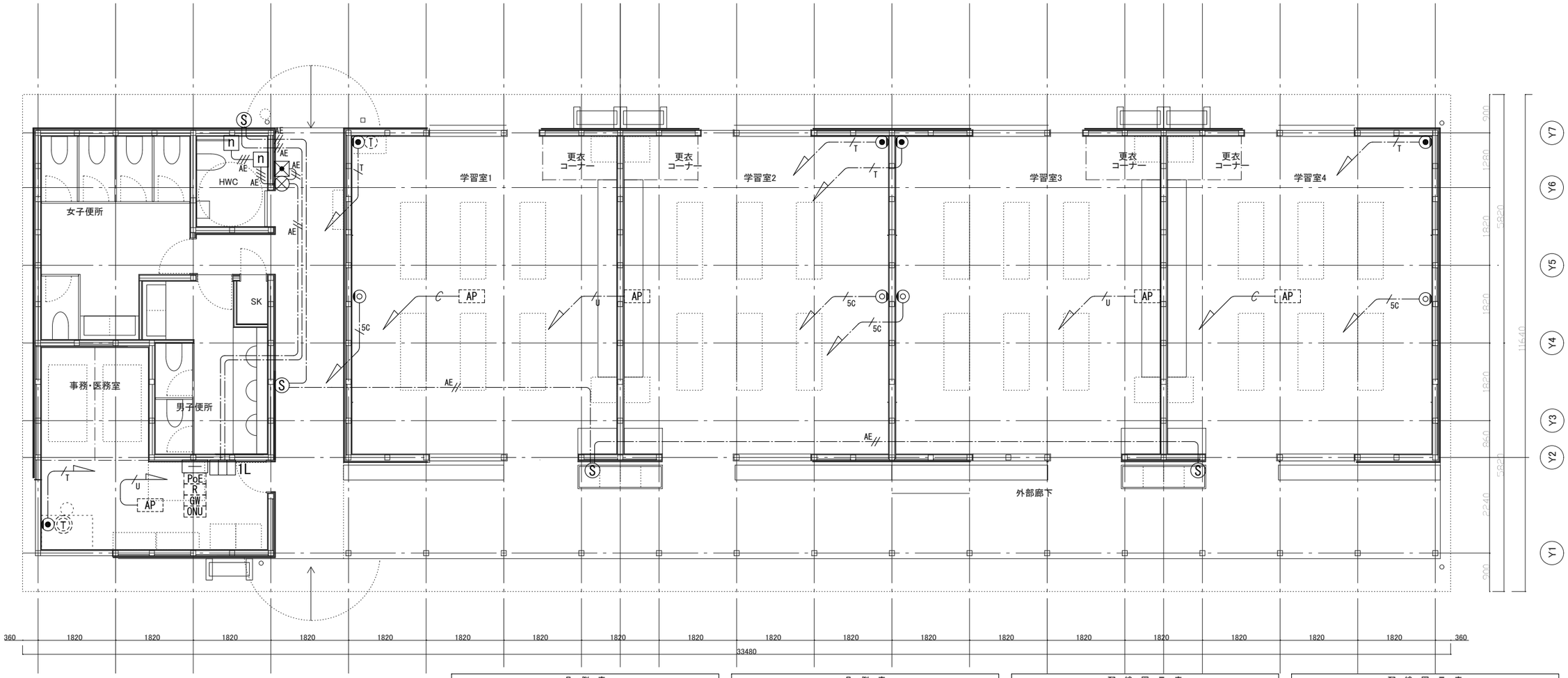
●規格表　SH7F1

項　目（単位）	性　　能						
周波数帯域（MHz）	10～76	76～300	300～770	1000～1489	1489～2150	2150～2681	2681～3224
挿入損失（dB）	0.5以下	0.3以下	0.5以下	0.8以下	1.0以下	1.5以下	1.5以下
インピーダンス（Ω）	75（F形）						
質　　量（g）	0.081						

BL優良住宅部品：BL形名　SH-7F
規格値は、BL優良住宅部品の認定基準を表示しています。

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗潮忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井　一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: テレビ共同受信設備 系統図
Scale: A1: N.S. A3: N.S.
Architect
Drawn by
Checked by
Date: 2026.09.30
E-503



T-1

凡 例 表

記 号	名 称	備 考
■共通		
	端子盤	
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	
	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	
	区画貫通処理部	
■構内交換・構内情報通信網設備		
	既存流用　ｼｬｰﾌﾟ　JD-V37CL　親機	
	既存流用　ｼｬｰﾌﾟ　JD-V37CL　子機	
	電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ(壁用)	
GW	ひかり電話GW	別途工事
ONU	ONU（光回線終端装置）	別途工事
R	ﾙｰﾀｰ	別途工事
PoE	PoEｽｲｯﾁ	別途工事
AP	無線LANｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ用ｱｳﾄﾚｯﾄ 通線ﾁｬﾌﾟ	ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ別途

凡 例 表

記 号	名 称	備 考
■テレビ共同受信設備		
	ﾃﾚﾋﾞ端子 壁付	
■ﾄｲﾚ呼出設備		
1L	1窓用呼出表示器	
n	呼出ﾎﾞﾀﾝ（引きﾋﾓ付）	
	廊下灯	
	復旧ﾎﾞﾀﾝ	
S	光るﾁｬｲﾑ	

配 線 図 示 表

記 号	配 線		保護管
	天井内ころがし配線		
	床隠ぺい配管配線		
	露出配管配線		
	地中埋設配管配線		
■構内交換・構内情報通信網設備			
U	EM-UTP　0.5-4P(Cat6A)	ﾋﾟｯﾄ・天井内	
U	EM-UTP　0.5-4P(Cat6A)	隠ぺい	(PF22)
T	EM-EBT　0.5-2P	ﾋﾟｯﾄ・天井内	
T	EM-EBT　0.5-2P	隠ぺい	(PF16)
C	空配管（導入線入り）		(PF22)
■テレビ共同受信設備			
5C	EM-S-5C-FB	ﾋﾟｯﾄ・天井内	
5C	EM-S-5C-FB	隠ぺい	(PF16)

配 線 図 示 表

記 号	配 線		保護管
■ﾄｲﾚ呼出設備			
AE	EM-AE　0.9-2C	ﾋﾟｯﾄ・天井内	
AE	EM-AE　0.9-2C	隠ぺい	(PF16)
AE	EM-AE　0.9-3C	ﾋﾟｯﾄ・天井内	
AE	EM-AE　0.9-3C	隠ぺい	(PF16)

特 記 事 項

■共通

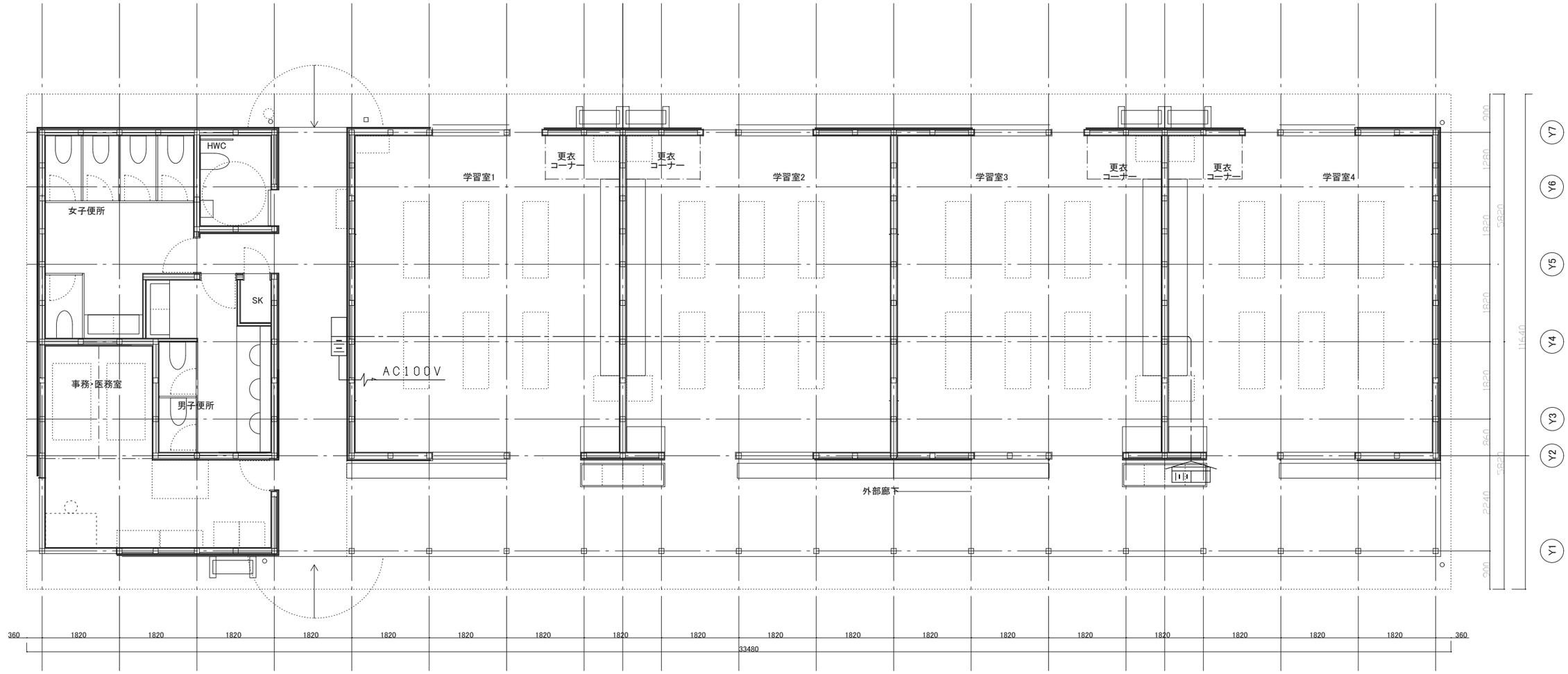
1. ｹｰﾌﾞﾙ配線における壁面立上げ・引下げ部分は、電線管（PF管）にて保護するものとする。
2. 防火区画貫通部は、国土交通大臣認定工法にて貫通処理を施すものとする。
3. ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ寸法は下記とする。

☒ abc　鋼板製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ　(a x100) x (b x100) x (c x100)

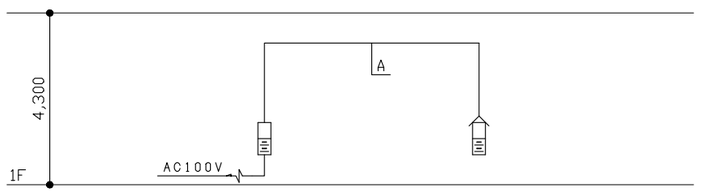
※傍記WPは、ｽﾃﾝﾚｽ製・防水型とする。

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事	曽於市	弱電設備 1階平面図	A1:1/50 A3:1/100	Drawn by	2026.09.30	E-504
				Checked by		



凡例		
記号	名称	備考
	複合装置	露出型 Ⓕ Ⓩ収容
	複合装置	露出防雨型 Ⓕ Ⓩ収容
Ⓟ	起動装置	リング型表示灯（DC6V，LED）付
Ⓟ	起動装置	リング型表示灯（DC6V，LED）付，防雨型
Ⓩ	電子サイレン	DC24V
——·——	ケーブル配線	天井いんぺい



非常警報設備　系統図

配管配線表

記号	ケーブル	配管
A	EM-HPO．9- 4C EM-VVF1．6-2C	(25)

EM-VV-F：ビニル絶縁ビニルシースエコマテリアルケーブル
EM-HP：耐熱エコマテリアルケーブル

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-19末吉小放課後児童クラブ施設改築 電気設備工事	曽於市	非常警報設備 系統図·1階平面図	A1:1/50 A3:1/100	Drawn by / Checked by	- - 2026.09.30	E-505